FINAL FANTASY CRYSTAL CHRONICLES™

ファイナルファンタジー・クリスタルクロニクル

～Beyond the Endless Sky～

II

Ryunosuke Ichikawa

GANGAN COMICS

Ryunosuke Ichikawa

Since I began serializing Beyond the Endless Sky, I've received many letters and emails via my website which I'm very happy about. I'm sorry I haven't been able to respond to all of them (-_-;), but I treasure them deeply.

FINAL FANTASY CRYSTAL CHRONICLES™

ファイナルファンタジー・クリスタルクロニクル

～はてなき空の向こうに～

2

壱河柳乃助（いちかわりゅうのすけ）

©2003 THE GAME DESIGNERS STUDIO, INC. FINAL FANTASY is a registered trademark of SQUARE ENIX CO.,LTD.
CHARACTER DESIGN/Toshiyuki Itahana.

CONTENTS

7月目
アルフィタリアの事情
3 シェラの里の人々

8月目
21 混血の姫 武人達の姿

9月目
53 計画の終わり 計画の始まり

10月目
85 ジャック・モキートの館

11月目
117 人と魔物

12月目
151 黒の大群と白の騎士

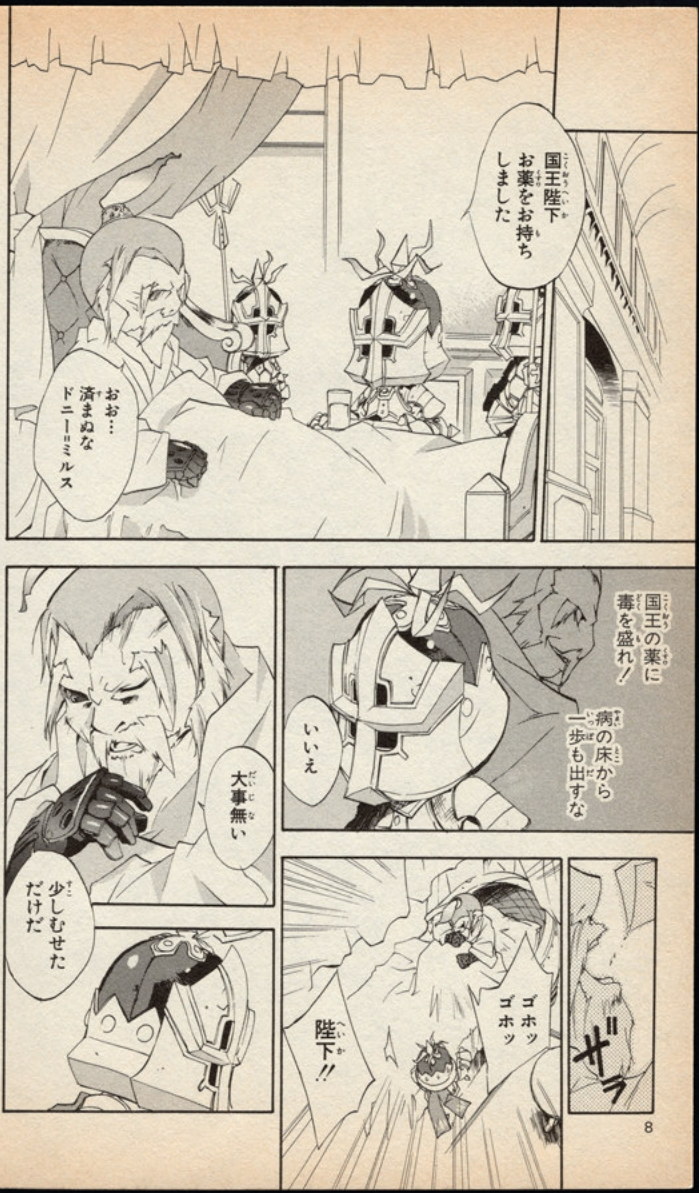
★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

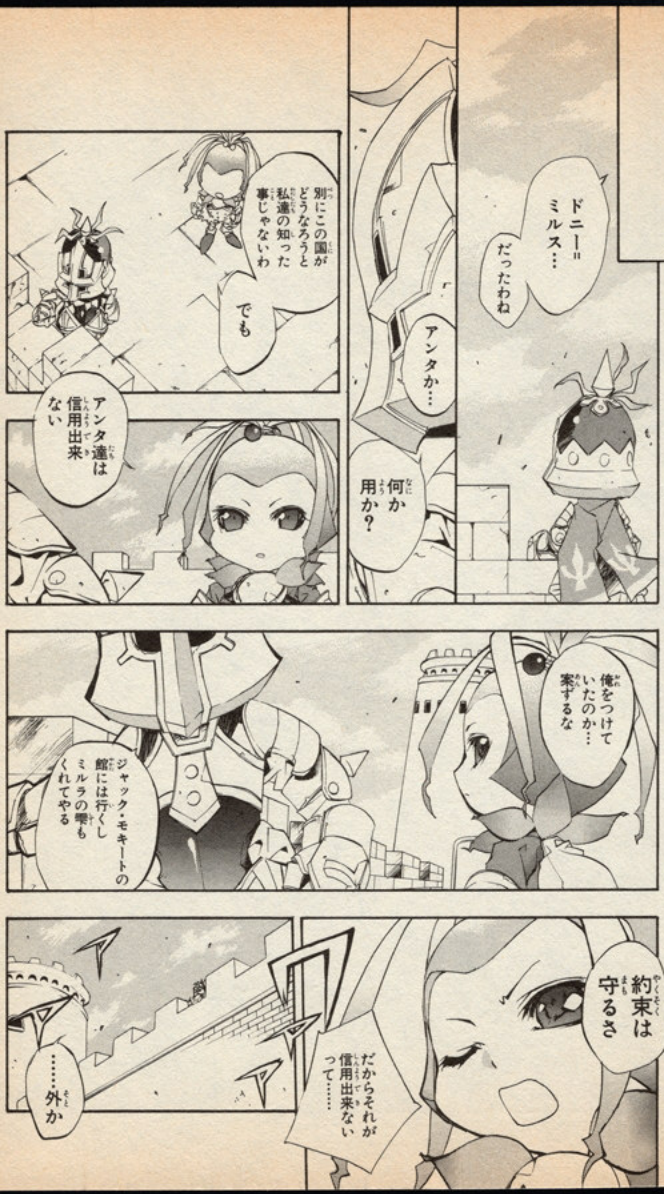
7月目
アルフィタリアの事情
シェラの里の人々

アイツ等いつまでこんなとこに軟禁しとくつもりよ！
ムカ
ムカ
あ――もぉムカツク!!
うおらぁあ～
バカ――
アタシ達は雫集めに来たのよ?
それがフォックスもいない ケージも無いで訳のわからないゴタゴタに巻きこまれて…
シーペーグ！こんなとこさっさと…
……。

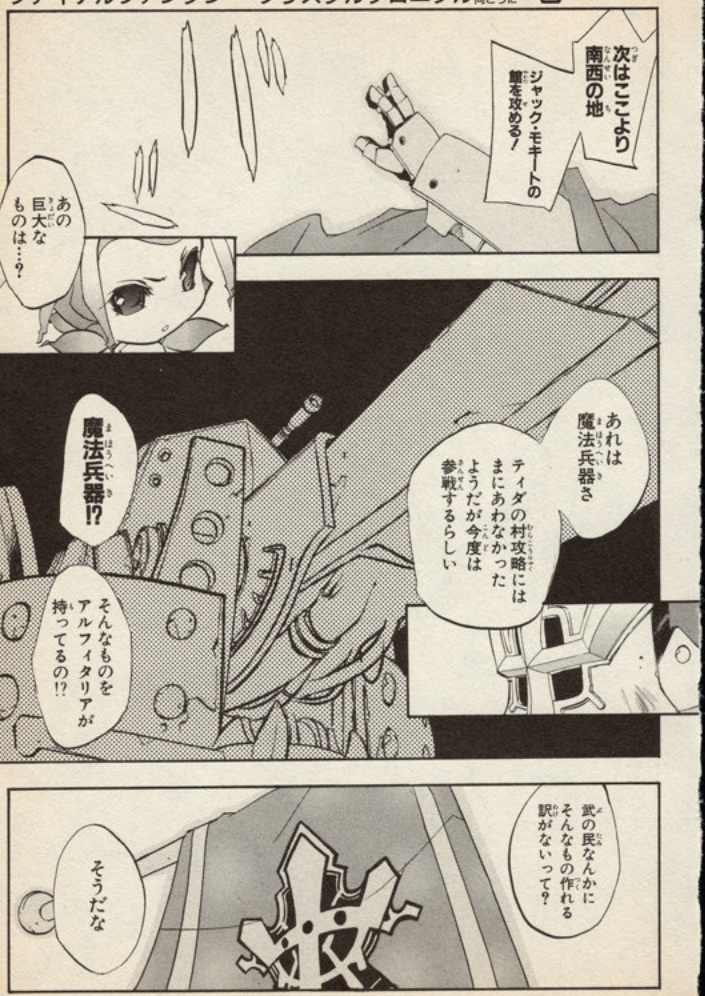
ル・ジェ！
どうかしましたか!?
シシシシーベーグの
ああ頭が…
頭がもげ…もげ
ああ
何だそんな事でしたか…
何言ってんのよ
首が落ちたのよ
首が!!
首が落ちたって事はつまり……
って…
あれ？

ユークの仮面や鎧の姿は魔力を最大限に活かす為の仮の姿
城内を探索する為にアルフィタリア兵の鎧に乗り移っていたのですよ
ガシャ
ガチャ
ガチャ
もっともなれない体でいるのは消耗が激しく長時間はいられませんが…
…ル・ジェ？
なーるほどそうだったの…
ふぅる
つまりクレアとシーベーグは私だけ残してアルフィタリア見物を満喫してたってワケね…
ふぅる
え…
いや別に楽しんでた訳じゃ…
もぉ怒った！
アタシも勝手に出ていってやるんだから
バーカ
バーカ
あーあ


国王陛下
お薬をお持ち
しました
おお…
済まぬな
ドニーミルス
国王の薬に
毒を盛れ!
病の床から
一歩も出すな
いいえ
大事無い
少しむせた
だけだ
ゴホッ
ゴホッ
陛下!!
ガラ


ドニー＝ミルス…
だったわね
アンタか…
何か用か？
別にこの国がどうなろうと私達の知った事じゃないわ
でも
アンタ達は信用出来ない
俺をつけていたのか…
案ずるな
ジャック・モキートの館には行くしミルラの雫もくれてやる
約束は守るさ
だからそれが信用出来ないって……
……外か

!?
何よあれ
大臣の組織した
中隊さ
アレで3日後
ジャック・モキートの
館を攻める
皆の者!!
先日我々は
諸君らおのおのの
活躍により見事
ティダの村攻略を
果たした!


次はここより南西の地
ジャック・モキートの館を攻める！
あの巨大なものは…？
あれは魔法兵器さ
ティダの村攻略にはまにあわなかったようだが今度は参戦するらしい
魔法兵器!?
そんなものをアルフィタリアが持ってるの!?
武の民なんかにそんなもの作れる訳がないって？
そうだな

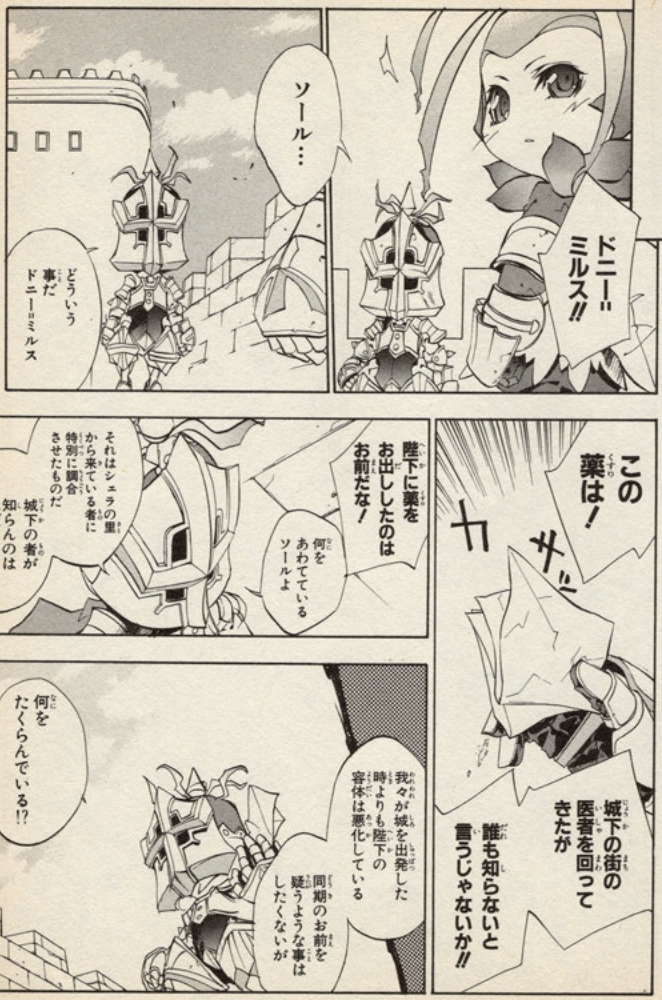
アレを作ったのは俺達じゃない
♬
!!?
きゃっ!!
うわっ!
いった……
何だよ一体
マズ…ッ早くも脱走がバレちゃった!?

このクソ忙しい時に……？
…アンタ誰？
セ…
セルキ…
アナタ
セルキーね!?
パーァ
ヤ
あ？
よかったー
ちょっとだけホントに
セルキーだから
出入り禁止なのかと…
前回のクレアの発言を気にしてる

師匠！
何をしているデ・ナム…？
貴女は先日ティパの村から来たという…
うっ
あれでも室内待機ってなってなかったっけ？
来た…
へぇ！アンタがそうなのか！
えっ まぁ一応…(？)
貴方方のお手伝いをするよう仰せつかったのですよ
シーベーク!?
魔術師マクシーム様鍛冶屋スピラーン様ですね？
話は聞いてます

ちょっとシーベーグどういうこと!?
先刻 兵のふりをしている時城の者に私の家業を話しそのように手筈を
彼らは大臣の依頼により魔法兵器の研究をしているシェラの里の権威です
かつて敵対していたはずのリルティとユークがこのような協力関係にあるとは思いもよりませんでしたが…
!? ティパの村のシーベーグ… 君か!
マクシーム様?
何と言う事だ
こんなところで会うとは!
え!?
いやぁ君の送ってくれた論文は興味深いものばかりで一度話をしてみたいと思っていたのだよ
遠方の者ながら君の父上は里でも知られた錬金術師だったが実に将来が楽しみ…
私もお会い出来て光栄です
ぎゅっ
いやいや今度ゆっくり君の研究についてくわしく話を…

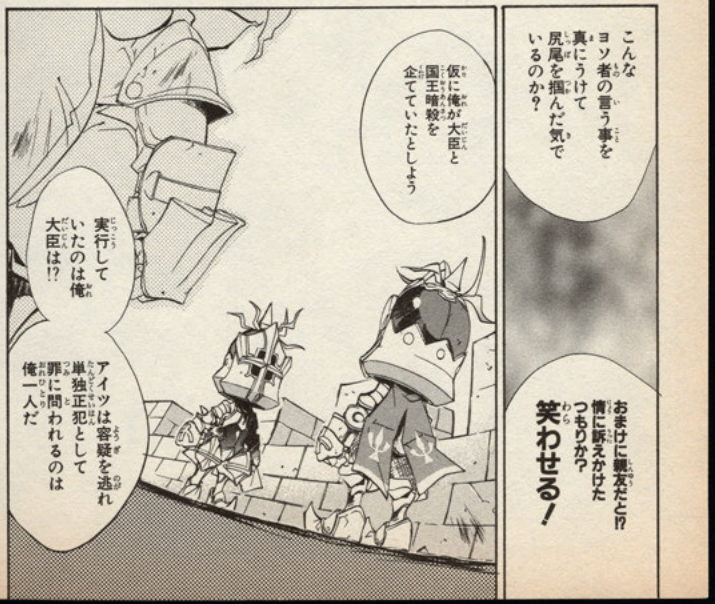
シーベーグ…
何でそんな
ワキアイアイと…
彼とは以前
ティパの村にいる時から
何度か手紙の
やりとりをしていたの
ですよ
スピラーンよ
彼が以前お前に
話した
ふむ デ・ナムよ
お前も会いた
がっていたで
あろう?
紹介しよう
シーベーグ
彼はスピラーンの
下で研究をしている
デ・ナムという男だ
セルキーの
学者…?


ドニー＝ミルス!!
ソール…
どういう事だ ドニー＝ミルス
この薬は!
城下の街の医者を回ってきたが
誰も知らないと言うじゃないか!!
陛下に薬をお出ししたのはお前だな!
何をあわてているソールよ
それはシェラの里から来ている者に特別に調合させたものだ
城下の者が知らんのは当然だろう
我々が城を出発した時よりも陛下の容体は悪化している
同期のお前を疑うような事はしたくないが
何をたくらんでいる!?

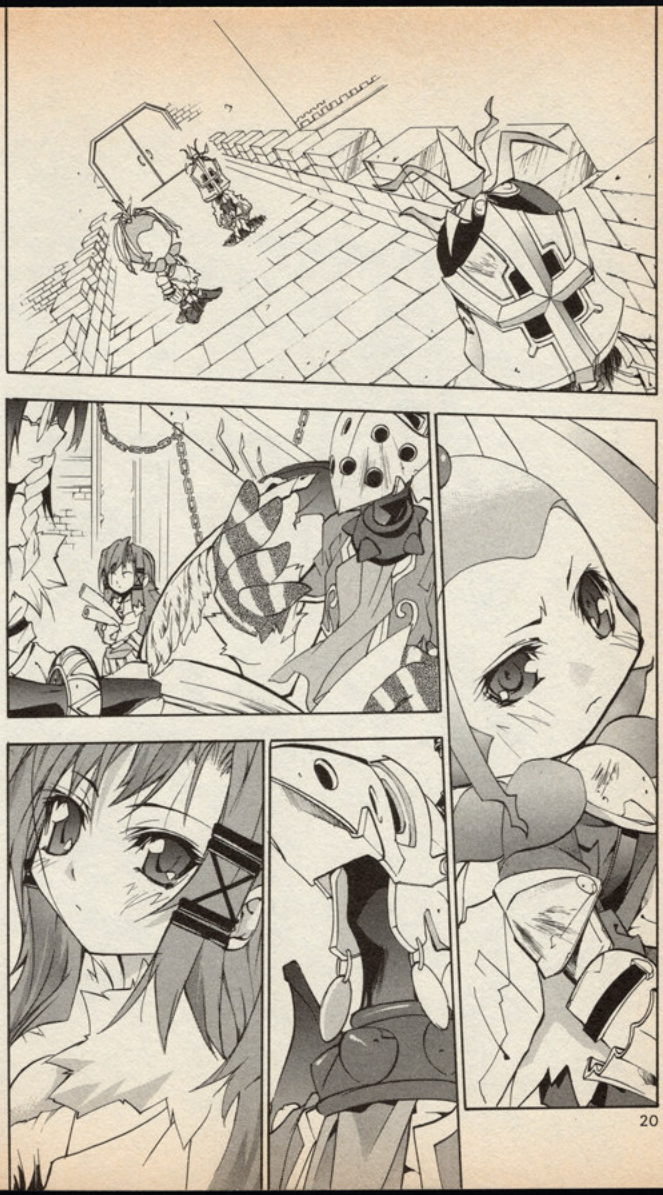
お前が大臣と共謀している事はクレア殿から聞いた

たのむドニーよ…
私はお前を親友だと思ってる
正直に罪を告白し…
甘いなソールよ

余計な事を…


こんなヨソ者の言う事を真にうけて尻尾を掴んだ気でいるのか？
おまけに親友だと!?情に訴えかけたつもりか？
笑わせる！
仮に俺が大臣と国王暗殺を企てていたとしよう
実行していたのは俺大臣は!?
アイツは容疑を逃れ単独正犯として罪に問われるのは俺一人だ

ヤツにはそれだけの力がある
そして部下もだ
俺を止めたところで他の者が大臣の命で動くだけ
お前は俺一人破滅に追い込む為に何を告白しろと言うんだ?
バカバカしい
まって ドニーミルス!
ドニー!!!



今夜はここで
宿をとります
各自準備を――
これくらいかな…

カラ

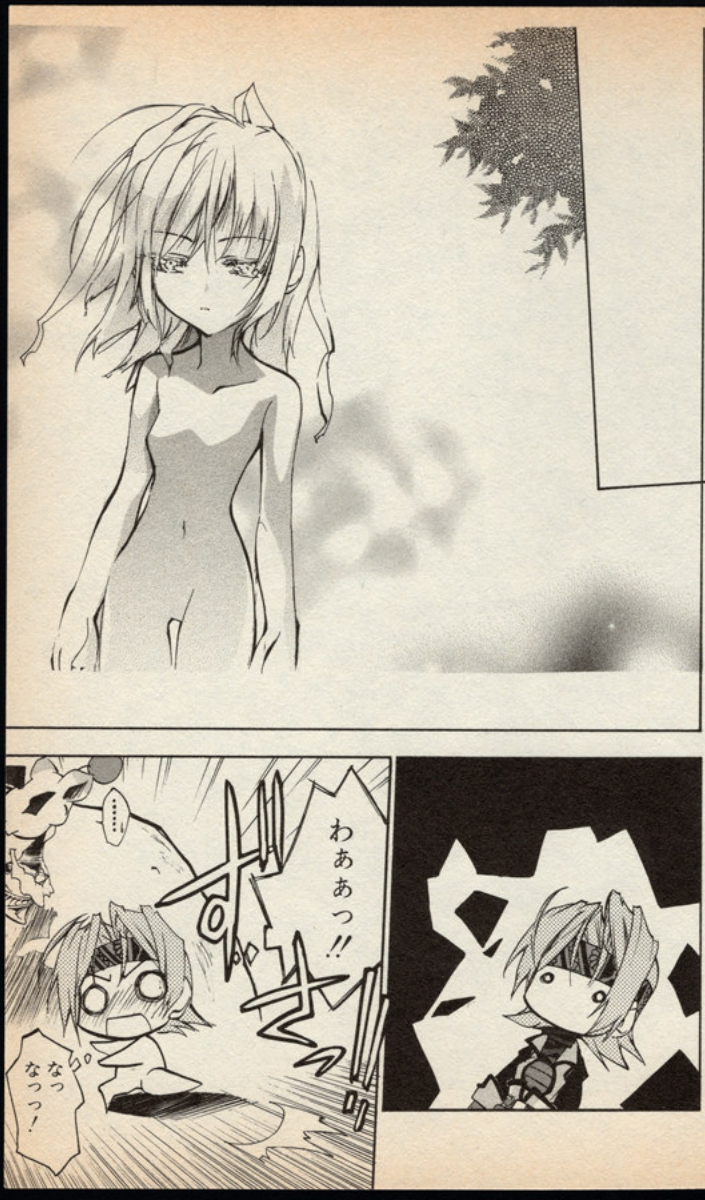
明日正午にはアルフィタリアに着くでしょう
明日か…

皆待っててくれてるのかな……
…早く会いたいな

8月目
混血の姫 武人達の姿

お手紙届けに来たクポ！
！
おつとめご苦労であーる！
誰からです？
……!!
これは…
薪集めてきました――
フォックス殿！
……え？

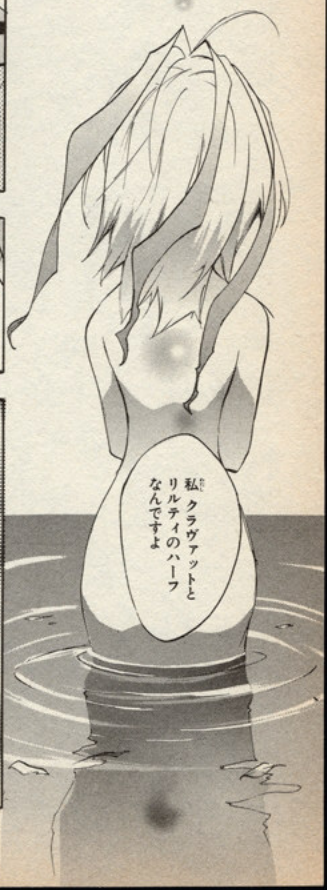
どうゆう事クポ？
さぁ…
ガサ
会ってもう半月くらい経つけど…
この手紙を姫様に手渡して来てもらいたいのだ
僕なんかにこんな大事そうな事頼むかなぁ…
ガサ
姫サマは？
確かこの先にいるって…
！


わぁぁっ!!
……
なっ
なっっ!

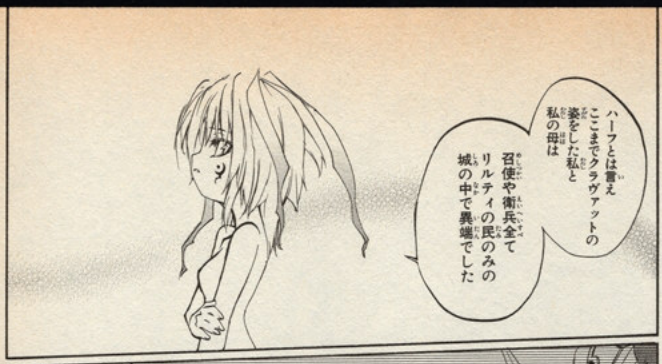
ハダカ!?
ぼんっ!!
何であんな…
やっ 水浴びなら当然
でも全然そんな事知らされて…
右ノ者大罪人ニヨリ逆サ吊リノ刑ニ処ス。
きゃあああ〜
許さん!
ドスッ!!
はっ!!
よくも姫様のあられもない姿をッ!!
誰?
ゴッ
ゴメンナサイあの……ッ
侍従長さんに頼まれてそれで…
ホントのぞくつもりは……
ビクッ!!
……フォックスさん…?
……

クス
ここしばらく湯にも浸っていませんでしたので……
少し水浴びを
そ…そうですか
フォックスさんも如何です?
ずーん…
おかまいなく…
サラリと何て事言うんだこの人は——————~!?
……………
チャプ
少しお話をよろしいでしょうか…?
え…
フォックスさん
私の身体御覧になりましたか?
打ち首。
とがびと
ふーやれやれ

！
御覧の通り
身体はほとんど
クラヴァットの女性の
ものと変わりません
リルティらしい
所と言えば
この髪ぐらい


私 クラヴァットと
リルティのハーフ
なんですよ

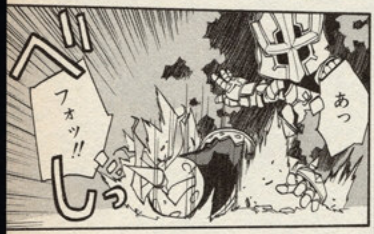
リルティの国王の
妃として迎えられ
たのはクラヴァットの
女性でした
そして
生まれたのが
私


ハーフとは言え
ここまでクラヴァットの
姿をした私と
私の母は
召使や衛兵全て
リルティの民のみの
城の中で異端でした

一部の城の者や
城下の民の中にも
異種族の妃を
迎えた王や私達
母子を疎ましく思って
いる者達もいる

…では
フィオナ姫は
その自分の姿と
御両親の事が
お嫌いなので
すか…？

そう考えた
時も確かに
ありました
ガサ
ガサ


あっ
フォッ!!
ベリッ

コリャ!
押すでない
見つかるじゃろ
スミマセン
侍従長殿…

でも今は…何かこの
姿に父の願った国の
行く末を指し示すような
そんな意味を感じるんです
それに私を
信じついて来て
くれる者もいる
ノゾキは
悪いコト！
…姫様
ついて来てくれる者たち→
その者達に
むくいる為にも
この世界に起こって
いる危機に対し
私は私の出来る
事をする
父様と母様の
国と民を
守る為に…

メソ
ひ…
メソメソ
姫様…！
フォックス殿…
彼に行かせて正解でしたな…
姫はいつも何か悩んでいる様子だった…
それも我々には話しにくい事
フォックス殿がクラヴァットでよかった…
姫にとって女王様と同じクラヴァットの者とゆっくり話す機会などもう幾年も無かったのだからな…
そう言えばフォックスさん
なにしろ女王様は…
何か用があって私を捜していたのでは？
あ そうだ手紙を預かっていて…

手紙……？

——よろしければ
そちらから声に
出して読んで
くださいますか

……
かまいません

はい…

えっと

前略——
貴女様の留守中
城内の事情
慎んで御報告
申し上げろ

先日 ティダの村の
キャラバン3名を
城に招き入れろ

仲介役の
クラヴァットが
一時郷と離れて
しまった為

！

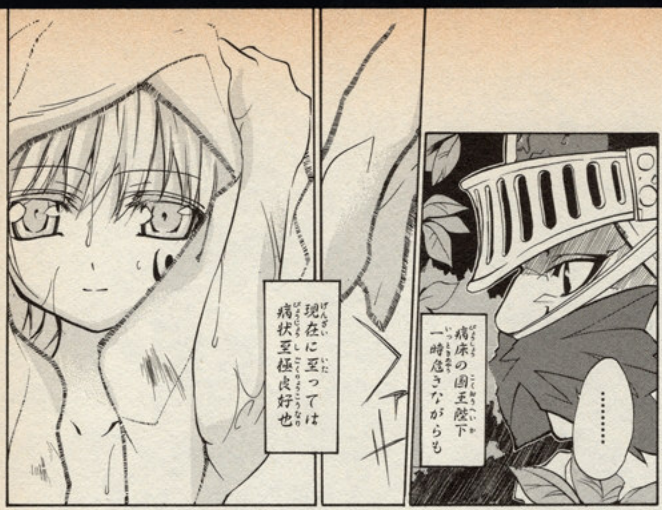
現在城内にて
合流を待つ

!?

同時刻
大臣殿の命
により

ティダの村を軍の
進行により攻略
その際アームストロングを
連行すること

見せしめとした後
城の地下にて死刑を
安置


病床の国王陛下
一時危きながらも
現在に至っては
病状至極良好也

……

昨日 大匡殿の
独断によりティタの
村に続きジャック・
ヒキートの館の
襲撃を決定
明朝
本地に向けティバの
村の者等と共に
罪を出発させろ
事と相成り

大匡殿の
勝手な振舞
甚だしく——
一同貴公等の
平期の御上洛——

切に御待ち
致す物也

皆の者 槍を持て!!
姫様をお守りしろ!
バシャ
バシャ
!
姫!!
な……
クノック フィエルナ!? どうして…
いつのまに!?
姫早くこちらへ!!
!
……いない

何だったのだ
今 巨大な魔物の影が…
飛び去っていっただけ?
一体どこへ…
まさか!
いやたぶんアルフィタリアじゃあないよ
!
…何ですと…
あの方角は…
ジャック・モキートの館……?

——つまり俺達
人間に酸素が
必要なように…
魔物の身体にとって
瘴気ってのはとても
重要な要素と
言える

瘴気に含まれる
成分が魔物の血液を
循環して細胞の
働きを担ってるんだ
俺の研究ではな
では瘴気が
無くなればおのずと
魔物もいなくなる
と…？
あくまで
仮説だがな
確証は無い
パタン
だがアミダッティ邸の
調査でクリスタルの
効果範囲の中では
ヤツらは多少ながら
弱体化する
ヤツら自身
クリスタルの影響を
受けているのは
間違いないんだ

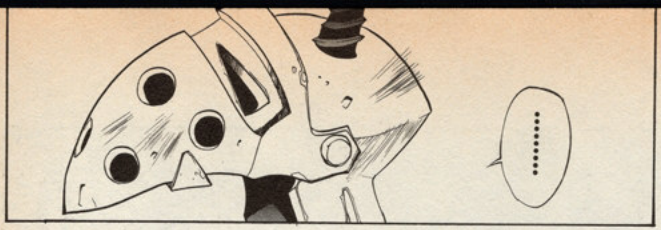
アミダッティ？
ああ シェラの里のキャラバンのリーダーさよく変わり者って言われてる

フフッ セルキーでありながら魅学に勤しむお前があの男を変わり者呼ばわりか
お主の方こそ変わっていると思うがな
マクシーム様

クリスタル無しで瘴気の中で生きる為の研究などしてるお前に言われてはな
兵器開発なんてやってるから今は中断してるけどきっとやりとげますよ

へえ！ そんな事考えてるんだ！

それが俺の夢だからな


……

すごいよねー
クリスタル無しで
旅ができるなんて

もし
そんな事に
なったら……

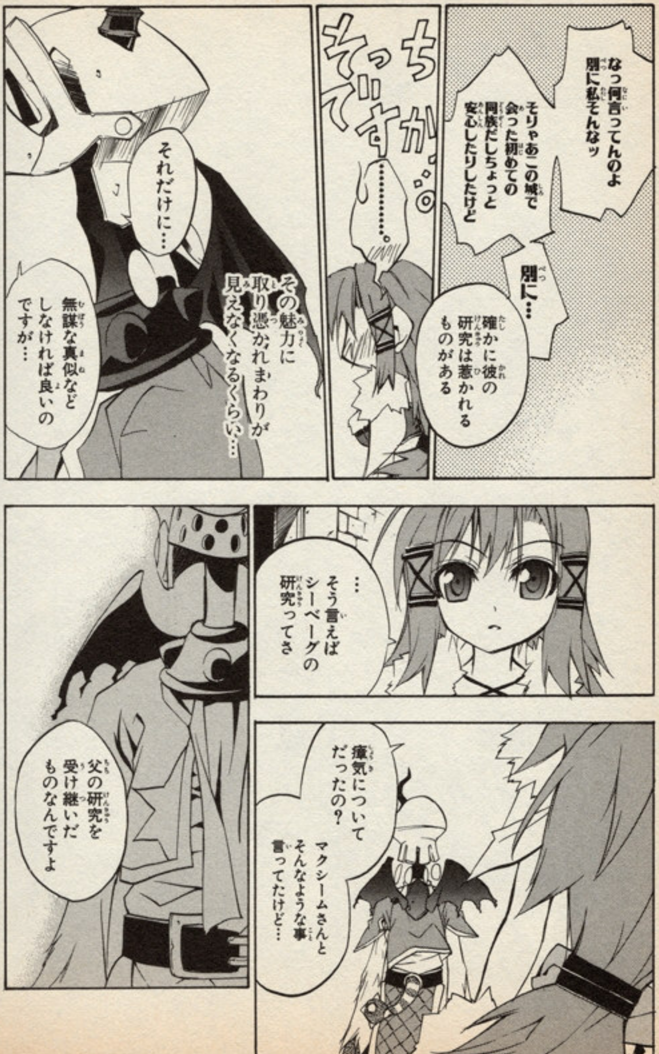
ル・ジェ
随分
気に入った
ようですね

え…

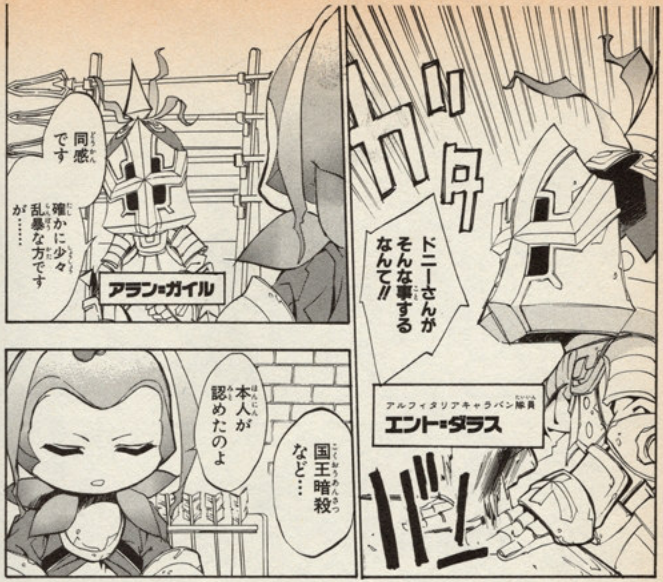
もう危険な
ミルラの噂集めの
旅なんてしなくて
済むし

町や村の
クリスタルの効力の
範囲に関係無く
大きく出来るし

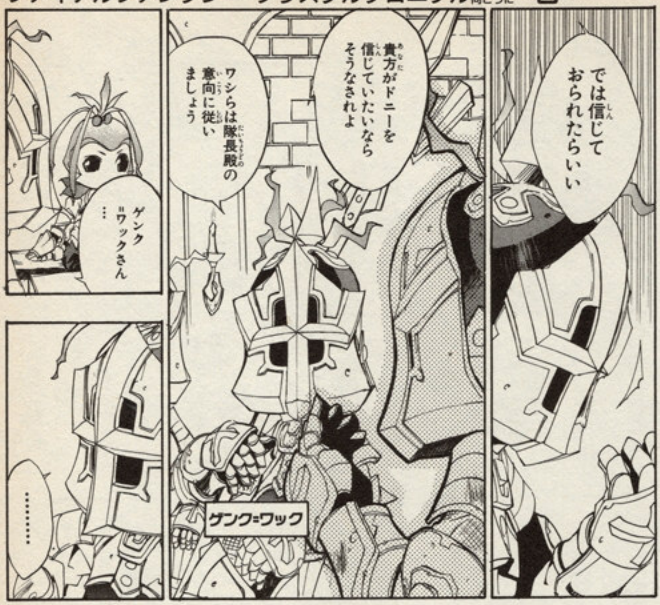
いいコト
ばっかだよねぇ
――!

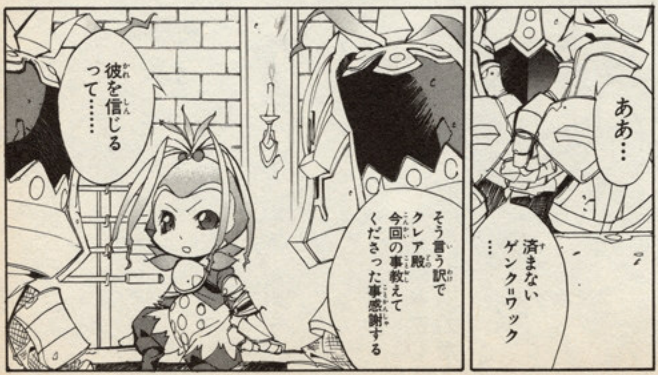

なっ何言ってんのよ
別に私そんなッ
そりゃあこの城で会った初めての同族だしちょっと安心したりしたけど
別に…
確かに彼の研究は惹かれるものがある
そっちですか。。。
……。
それだけに…
その魅力に取り憑かれまわりが見えなくなるくらい…
無謀な真似などしなければ良いのですが…
…そう言えばシーベーグの研究ってさ
瘴気についてだったの？
マクシームさんとそんなような事言ってたけど…
父の研究を受け継いだものなんですよ

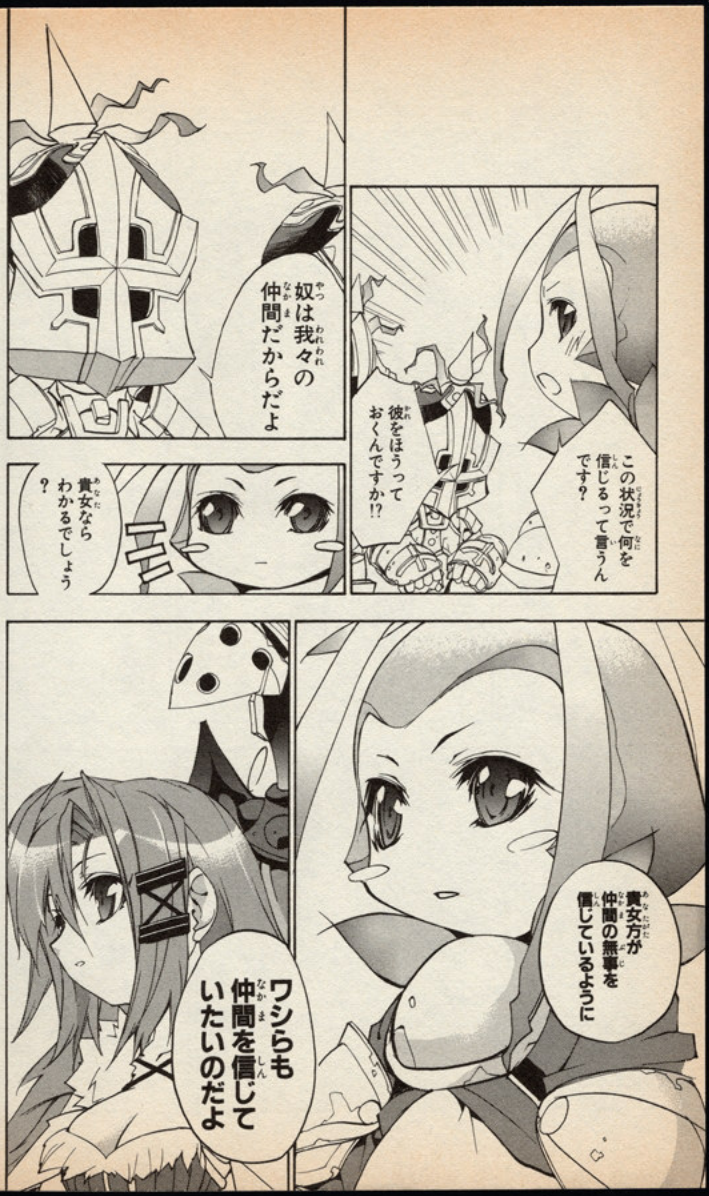
父が言うには
つねに未知をもとめそれに向かってただひたすらマイシンする事こそが
錬金術師の心意気だそうです
自分の命を犠牲にして手に入れた知識など
一体何の意味があると言うのでしょうか…
すみません突然こんな事…
早く戻りましょう明日は忙しくなるでしょうし…
そんなワケ無いでふよ！

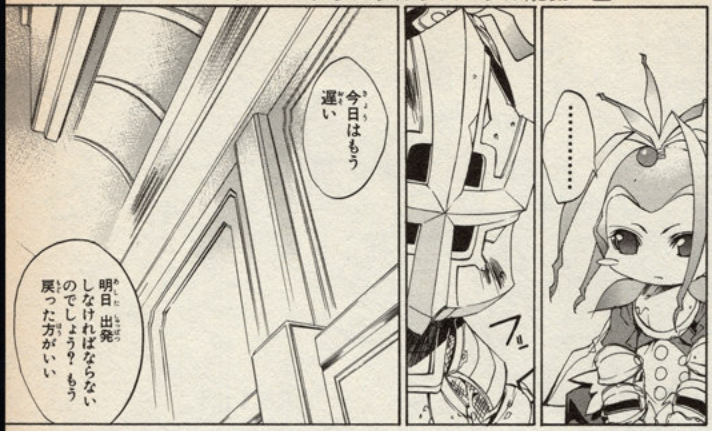

ドニーさんがそんな事するなんて!!
アルフィタリアキャラバン隊員
エント=ダラス
国王暗殺など…
本人が認めたのよ
同感です
確かに少々乱暴な方ですが……
アラン=ガイル

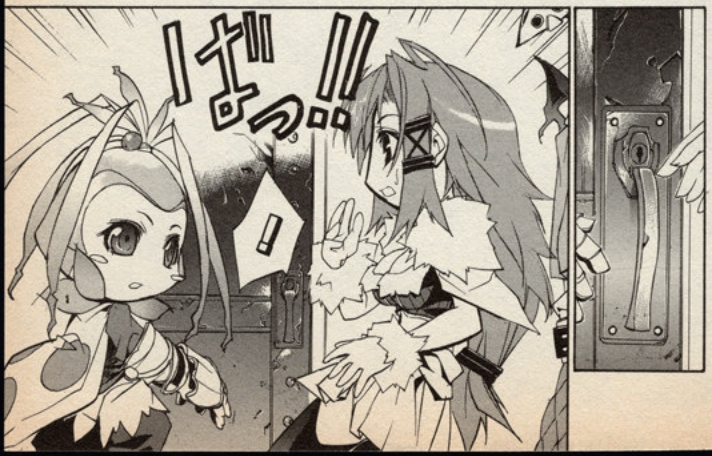
!?
クレアの声…
そんな…
リール隊長!!
エント=ダラスよクレア殿の言う通りだ
我々の前でドニーは全くごまかそうともしなかった…
アイツは…
アイツの口から反論の一つも聞いていれば私も信じていられた
キャラバンの仲間であるアイツを


では信じておられたらいい
貴方がドニーを信じていたいならそうなされよ
ワシらは隊長殿の意向に従いましょう
ゲンク"ワック
ゲンク"ワックさん…
……
ゲンク=ワック


ああ…
済まないゲンク"ワック…
そう言う訳でクレア殿今回の事教えてくださった事感謝する
彼を信じるって……


この状況で何を信じるって言うんです？
彼をほうっておくんですか!?
奴は我々の仲間だからだよ
貴女ならわかるでしょう？
貴女方が仲間の無事を信じているように
ワシらも仲間を信じていたいのだよ


……
フン
今日はもう遅い
明日、出発しなければならないのでしょう？もう戻った方がいい

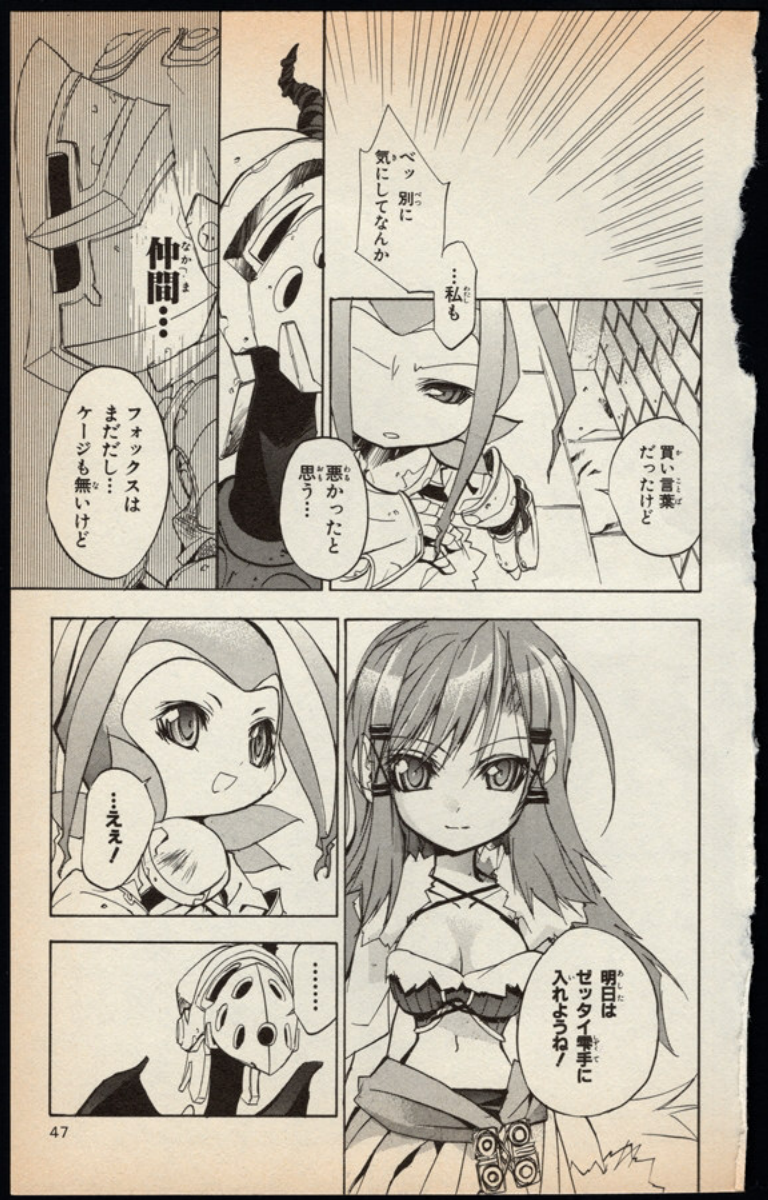

ばっ!!
!

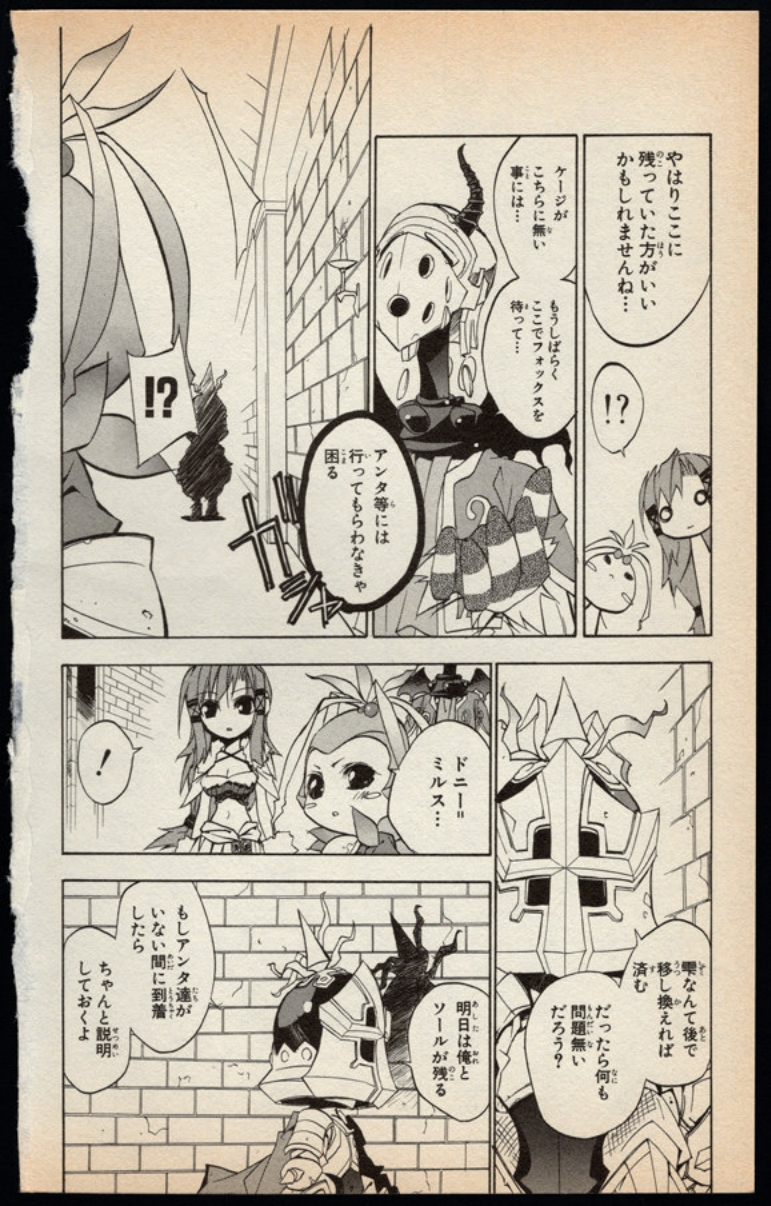
どーせ
勝手に出て
うろついてたんでしょ
ムッ
ハッ

…
…ごめん

いや
その…
迂回して先に戻ってようと思ったのに…
同時に来ちゃったよ…
シーベーグル・ジェ!?
アンタ達どうして部屋から出て…ッ

ここ来た日
私アンタに悪いコト言ったわ…
だから…ごめん…
――え…?


買い言葉だったけど
…私も
ベッ別に気にしてなんか
悪かったと思う…
仲間…
フォックスはまだだし…ケージも無いけど
…ええ！
……
明日はゼッタイ零手に入れようね！

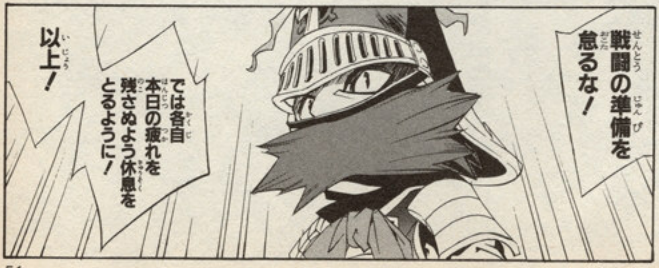

やはりここに残っていた方がいいかもしれませんね…
!?
ケージがこちらに無い事には…
もうしばらくここでフォックスを待って…
!?
アンタ等には行ってもらわなきゃ困る
ガシャ
ドニー＝ミルス…
!
嘆なんて後で移し換えれば済む
だったら何も問題無いだろう？
明日は俺とソールが残る
もしアンタ達がいない間に到着したら
ちゃんと説明しておくよ

アンタ
ねえ！
クレア！
ドニーさん
困るとはどう
いう事です？
アンタ達には
関係無いのだ
がな…そうだな
そこの怖い顔した
御嬢さんは明日
残ってもらっても
かまわないが…？
アンタさえ
よければ…な
……
いいわ
クレア
本気なの!?
二人共
勝手な事して
ごめんなさい

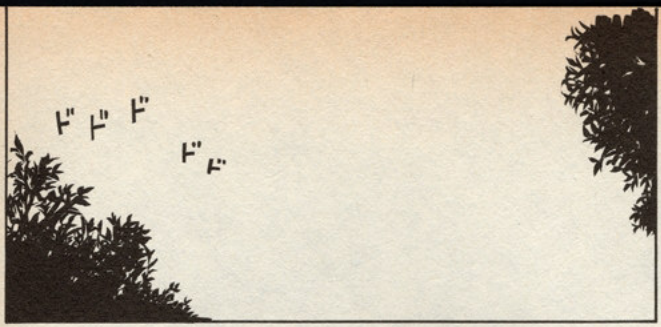
私こういう
裏でコソコソしてる
ような奴は許せない
タチなのよ
怖い怖い…
話は済んだ
もう寝な
明日は
早いからな

姫様より
通達!!

明日早朝
アルフィタリアへ
向け出発の
予定であったが
急遽変更と
なった!
明日 我々は——
ジャック・モキートの
館を目指す!!


戦闘の準備を
怠るな!
では各自
本日の疲れを
残さぬよう休息を
とるように!
以上!

うっっ!!
ゲホゲホ!!
侍従長!!
しっかり!
もうわかくないんだから
街道に魔物が現れるなんてもう何百年も無かった事だという
あれほど巨大な魔物が出るなんて…
これも世界の異変の一端なのだろうか…
こうして僕は明日の為 眠りについた
ジャック・モキートの館
そこで全ての発端であるとある人物との出会いをその時僕はまだ知る由も無かった……

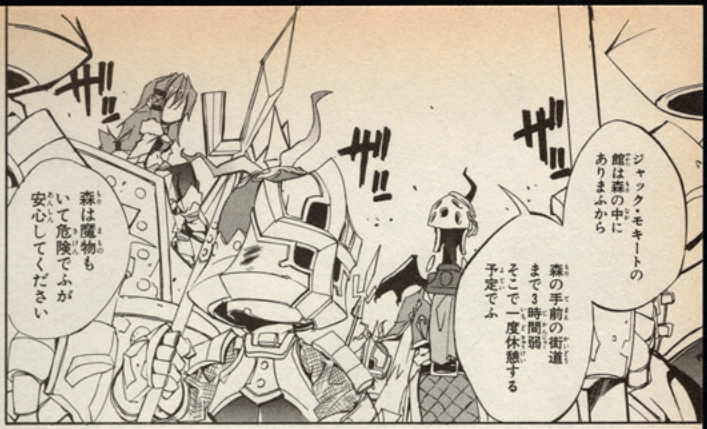

ドドド
ドド

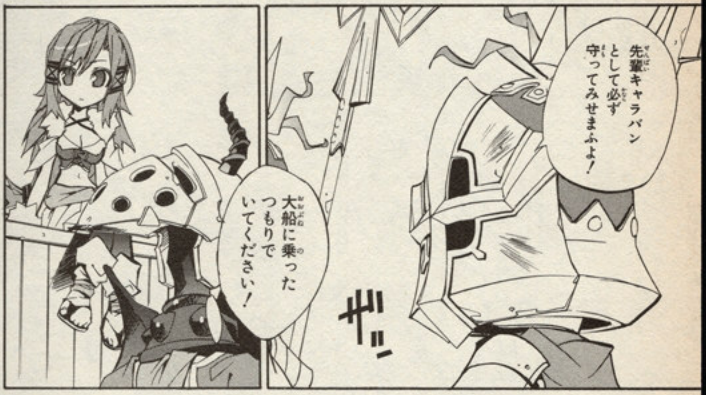
ガシャ
ガシャ
……大丈夫かしら

ゴト
ゴト
何がです？
ゴト
クレアの事よ
たった一人で
残るなんて…

ガシャ
ガシャ
まぁ
大丈夫だと
思いますよ
…？
え…？

いえ
ソール"ラクト
さんもいる
事ですし
とにかく
あちらの事は
心配無いでしょう


ジャック・モキートの館は森の中にありまふから
森の手前の街道まで3時間弱そこで一度休憩する予定でふ
森は魔物もいて危険でふが安心してください

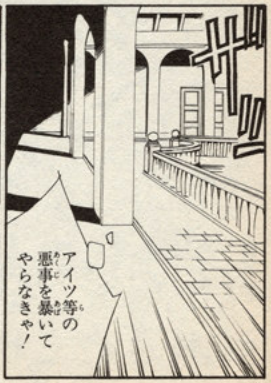

先輩キャラバンとして必ず守ってみせまふよ！
大船に乗ったつもりでいてください！

キャラバンとして…か
まったく…
私達いつになったら
4人そろって旅ができるのかなぁ…

9月目
計画の終わり
計画の始まり

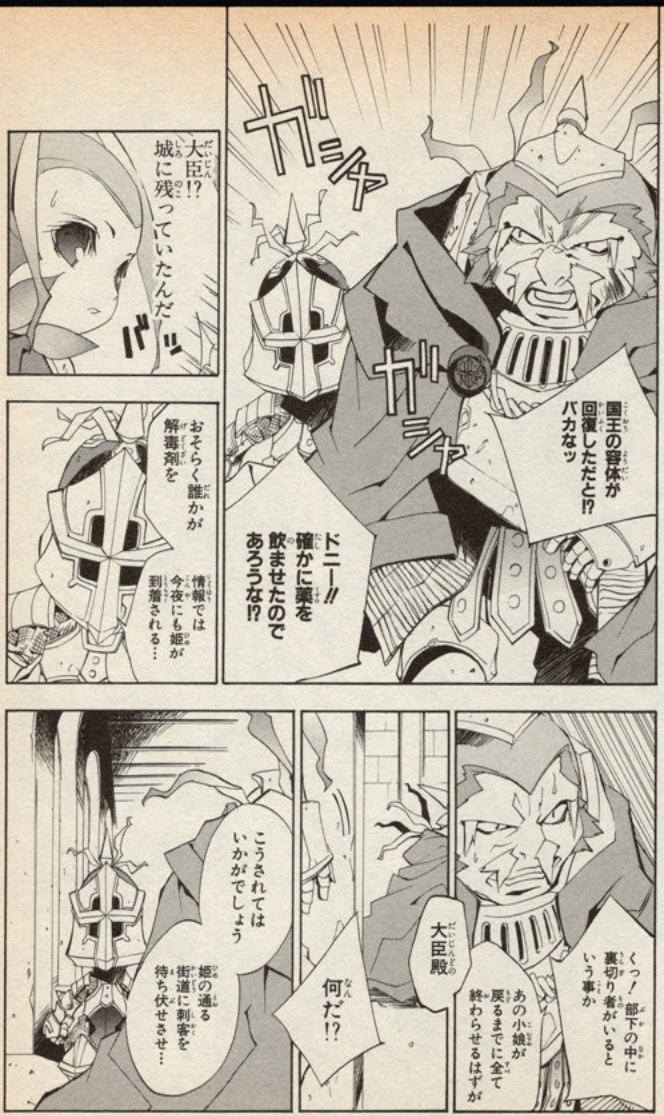
……
この国がどうなろうと私達の知った事じゃない
でも

残るミルラの木をも独占し他のクリスタルの集落の者共に圧力をかけ支配する
このままでは私達の村まで影響するなら
あの大臣の好きにさせる訳にはいかない！


ザッ
アイツ等の悪事を暴いてやらなきゃ！

はっ
よく考えたらむしろ大臣を見張ってた方がよかったかも……
主犯はむこうなんだし……

ガシャ
ガシャ
！
私もシーベーグ達と行った方がよかったかも…

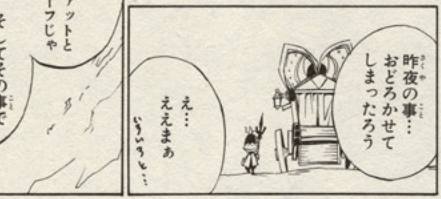

国王の容体が回復しただと!?バカなッ
ガシャ
ガシャ
ドニー!! 確かに薬を飲ませたのであろうな!?
おそらく誰かが解毒剤を
情報では今夜にも姫が到着される…
大臣!? 城に残っていたんだ
バッ
くっ! 部下の中に裏切り者がいるという事か
あの小娘が戻るまでに全て終わらせるはずが
大臣殿
何だ!?
こうされてはいかがでしょう
姫の通る街道に刺客を待ち伏せさせ…

姫を従者ともども殺すのです
その姫の遺品を国王に差し出し
そして一言こう言えばいい
「御息女は旅先で魔物の手にかかり御妃様の元へ行かれました」…と
……フッ
ふふふ
まったく何と悪知恵の働く男よドニー＝ミルス！
国王を絶望に追い込んで自害させようと言う訳か
たとえ自害に至らず我々が直接手を下したとしても欺けましょう
ははは!!
フハハ!!

よし
ワシの近衛兵を
刺客として
差し向ける！
これから国王に
謁見する
お前もくるが
いい
ゲンク＝ワックさん…
はい
仲間を信じて
いたいのだよ…
たった今
理解したわ
貴方の信じようと
したあの男は…
どうしようも無い
下衆野郎だって
事を…ッ!!
こうなったら
私一人で…
あの男を…！
!!

こんなに馬車から離れて歩いて大丈夫なんですか？
ゴト
ゴト
ゴト
馬車に置いているケージの範囲から出たら障気が…
心配せんでもよい
これはミドルクリスタルと言って…まぁ携帯用じゃな
スッ
そこいらにあるものじゃないがソール殿も一つ持っているはずじゃ
まさかクリスタル無しで我々が城を出る訳が無かろう
そうでした…
いかんいかん
もう一つ同じものを馬車で休んでおられる姫様が身に付けて……
……

――姫様に聞かれぬようにお主に少し話しておきたい事があってな
！
聞いた通り姫様はクラヴァットとリルティのハーフじゃ
そしてその事で悩みをかかえておられた

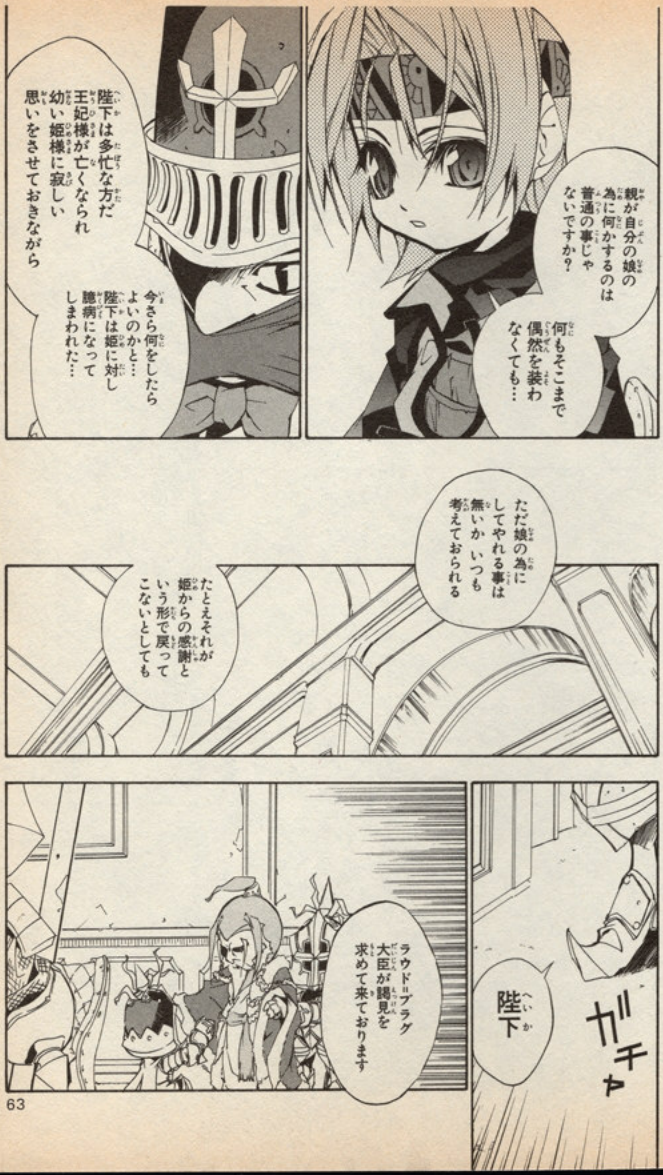

昨夜の事…おどろかせてしまったろう
え…ええまぁいろいろと…

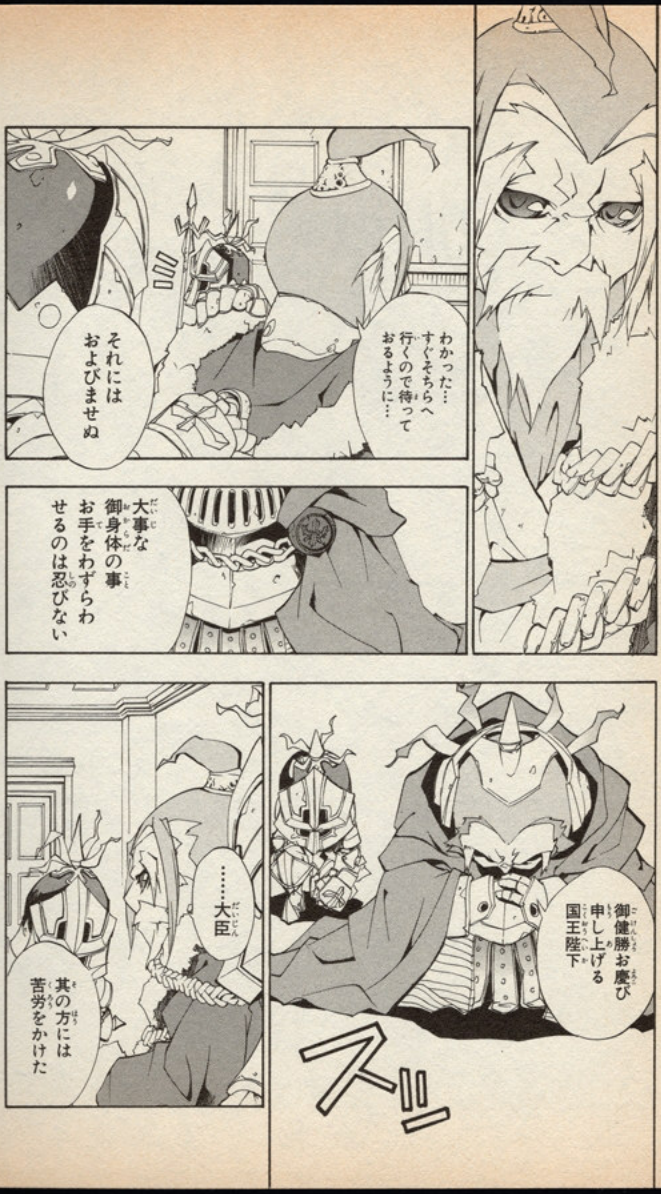
姫様には悩みを聞いてくれる者が必要だと考えられた国王陛下は
フォックス殿お主を呼んだのじゃ

仲介人と言うのは単なる口実に過ぎないのじゃ
騙してしまって済まない
――いえ

え……
正確には王妃様と同じクラヴァットの者をな

僕も薄々おかしいとは思ってましたから
…でも…本当の理由って言うのもお役に立てるか…
悩みなど人に打ち明けるだけで軽くなるものじゃて
ワシはお主で本当によかったと思っておるよ
何より歳の近い者同士の方が都合がいいそれに…
…知っていたのですか
姫様も幼くして母君を亡くされたのじゃよ…
ワシは昔お主の父アリオン殿にも面識があってなすぐわかったよ
ミルラの木の保護の計画は本当じゃただ姫様の事はあくまで自然にの
心の問題じゃあまりおおっぴらにしたくなかったのもある
姫様自身にも悟られぬようにしたい
！

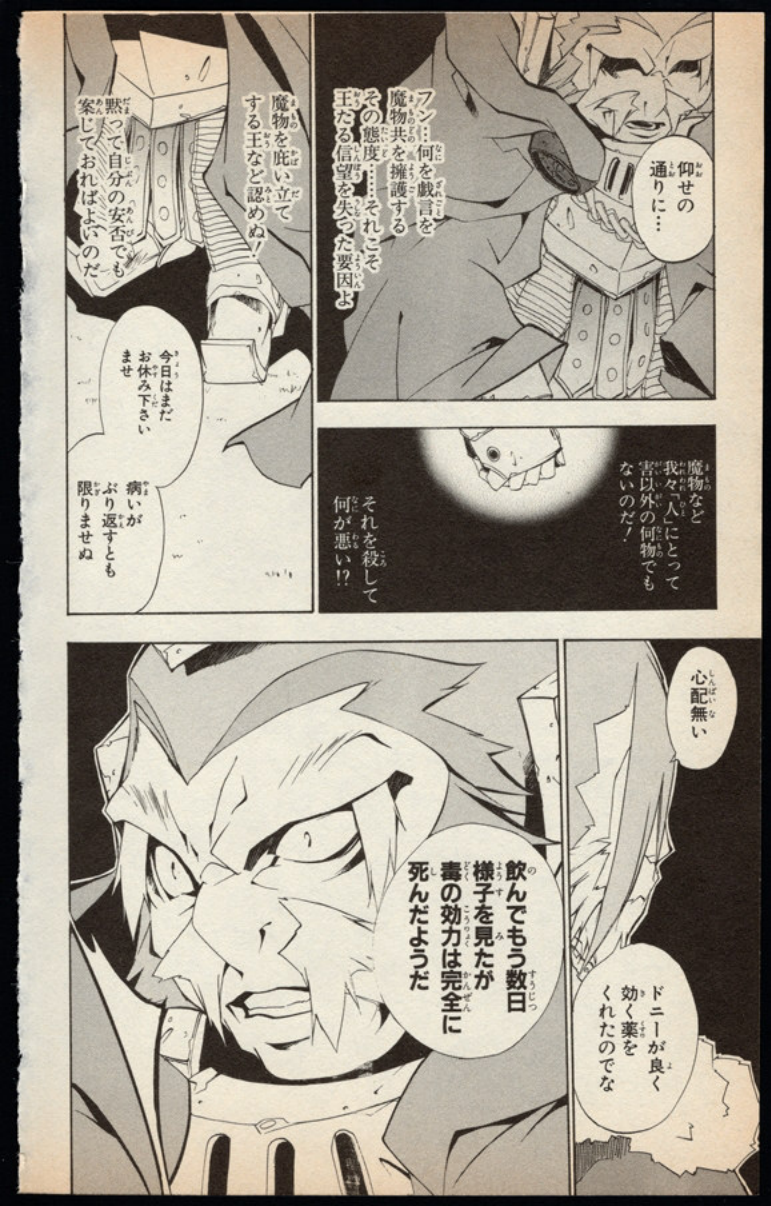

親が自分の娘の為に何かするのは普通の事じゃないですか？
何もそこまで偶然を装わなくても…
陛下は多忙な方だ
王妃様が亡くなられ幼い姫様に寂しい思いをさせておきながら
今さら何をしたらよいのかと…
陛下は姫に対し臆病になってしまわれた…
ただ娘の為にしてやれる事は無いかいつも考えておられる
たとえそれが姫からの感謝という形で戻ってこないとしても
ガチャ
陛下
ラウドルプラグ大臣が謁見を求めて来ております


わかった…
すぐそちらへ
行くので待って
おるように…
それには
およびませぬ
大事な
御身体の事
お手をわずらわ
せるのは忍びない
御健勝お慶び
申し上げる
国王陛下
……大臣
其の方には
苦労をかけた
フッ

床についている
間の事は
ドニーから
聞いておる
ティダの村の
遠征御苦労
であったな
はい

現在 私の部下の
者が宿営地を
建て交代で
彼の地を見張って
おります
無事
ミルラの木を
我々の
管理下に…
間も無く
ジャック・モキートの
館の制圧も
成りましょう
うむ…
制圧……か

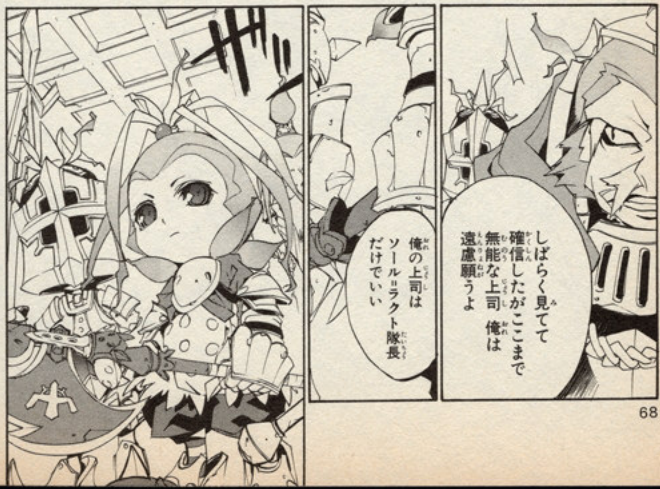
引き続き
ミルラの木の事は
其の方に任せる
極力穏便にな
魔物と言えど
無用な争いは
避けなければ
ならない
彼らの土地を
騒がせる事の無い
ようにな

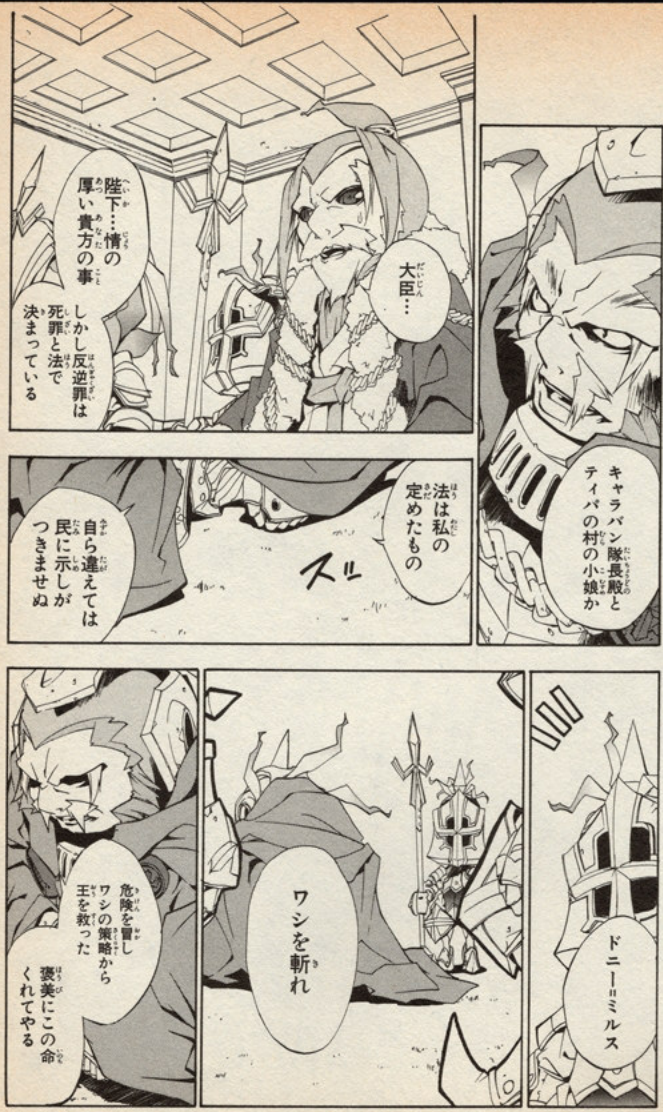

仰せの通りに…
フン…何を戯言を
魔物共を擁護する
その態度……それこそ
王たる信望を失った要因よ
魔物を庇い立て
する王など認めぬ！
今日はまだ
お休み下さい
ませ
病いが
ぶり返すとも
限りませぬ
黙って自分の安否でも
案じておればよいのだ
魔物など
我々「人」にとって
害以外の何物でも
ないのだ！
それを殺して
何が悪い!?
心配無い
ドニーが良く
効く薬を
くれたのでな
飲んでもう数日
様子を見たが
毒の効力は完全に
死んだようだ

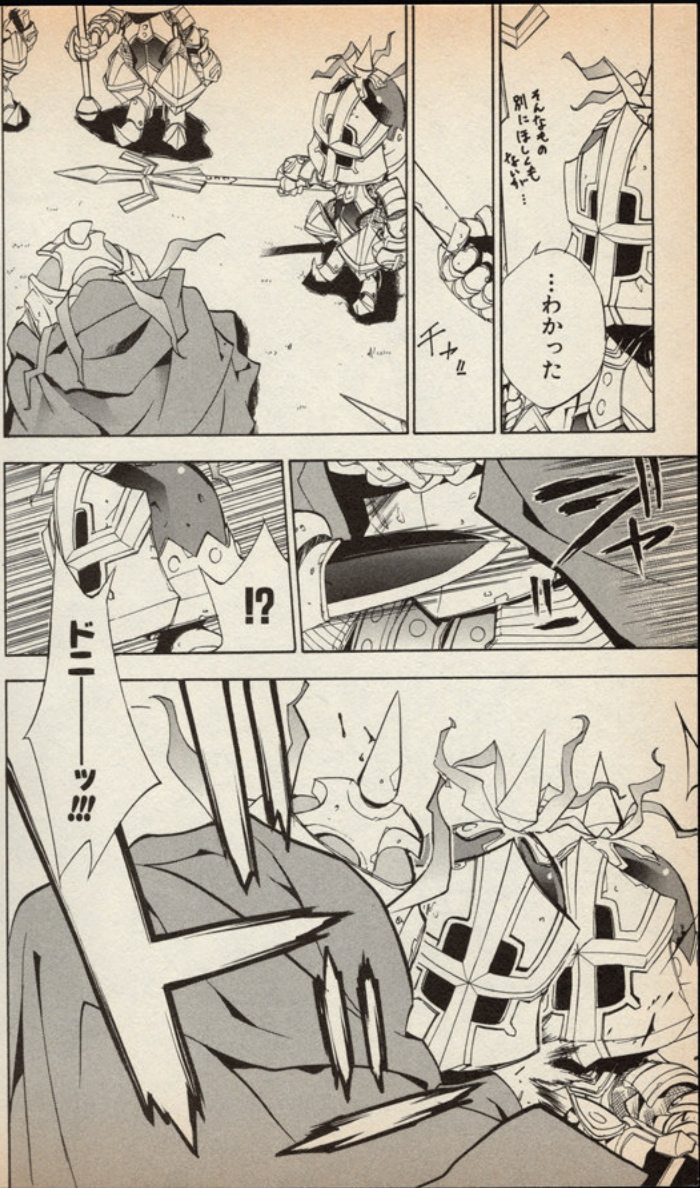
ドニーミルス
裏切り者…
貴様だったのか

いや…始めからワシをだますつもりだったと言うべきか
頭の回る男だと思っていたがよもやここまでとはな
アンタが王になる事には興味ないんでね

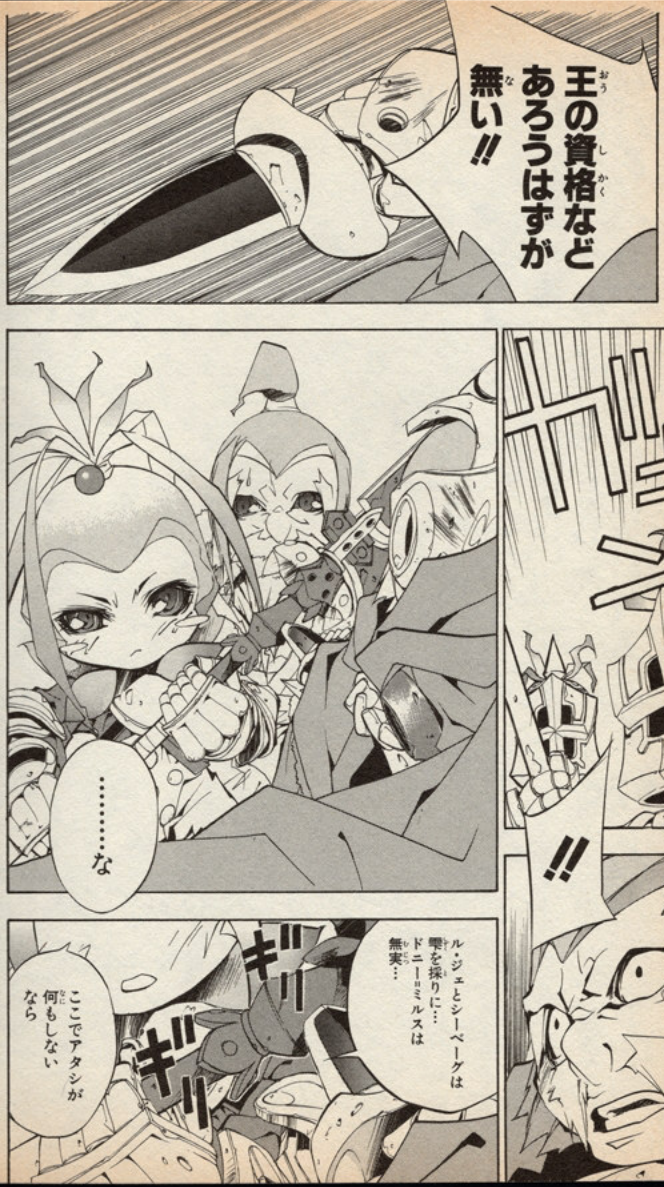
ただアンタの無能の部下共は本気でアンタの事支持していたし近くにいたらやっかいだったからな
ジャック・モキートの館へ行っているこの時をねらったのさ そしてダメ押しで近衛兵を遠ざけた

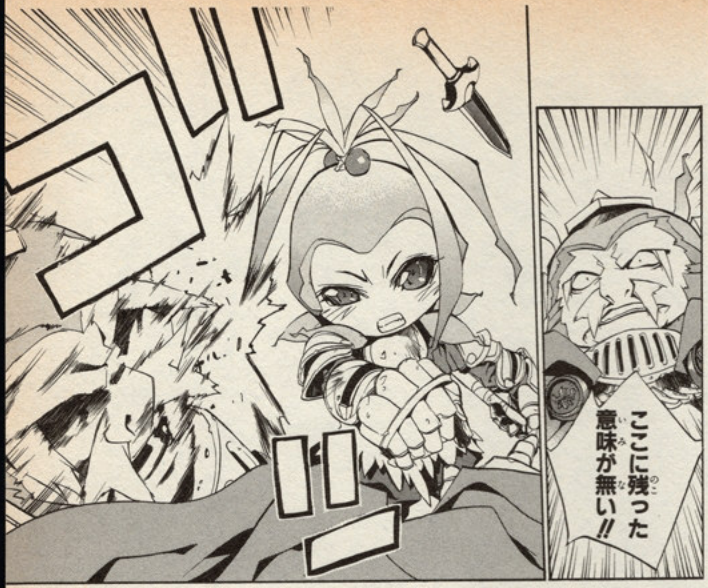

しばらく見てて
確信したがここまで無能な上司 俺は遠慮願うよ
俺の上司はソール"ラクト隊長だけでいい

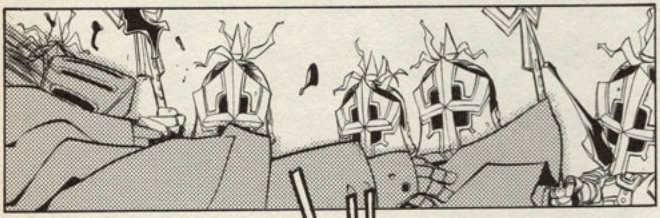

キャラバン隊長殿とティパの村の小娘か
大臣…
陛下…情の厚い貴方の事
しかし反逆罪は死罪と法で決まっている
スッ
法は私の定めたもの
自ら違えては民に示しがつきませぬ
ドニ＝ミルス
ワシを斬れ
危険を冒しワシの策略から王を救った
褒美にこの命くれてやる

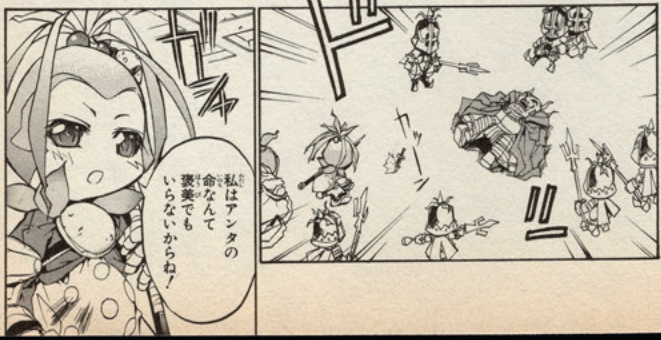

そんなもの別にほしくもないが…
…わかった
チャ!!
ジャ!!
!?
ドニーーッ!!!

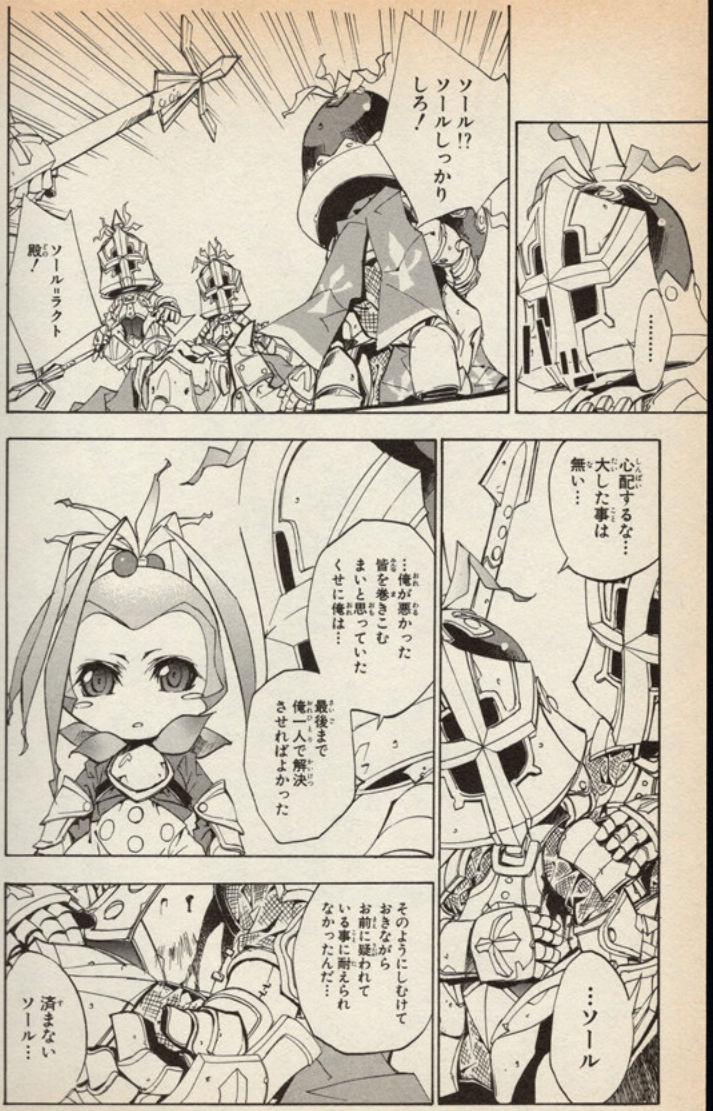
ソール!?
ぐ…っ
陛下――ッ!!!
!!
貴様が
王に相応しい
はずが無い
他種族の姫を迎え
我々人間の害悪で
しかない魔物を
かばうような王に


王の資格など
あろうはずが
無い!!
……な
ここでアタシが
何もしない
なら
ギリ
ギリ
ル・ジェとシーベーダは
雫を採りに…
ドニーミルスは
無実…
!!

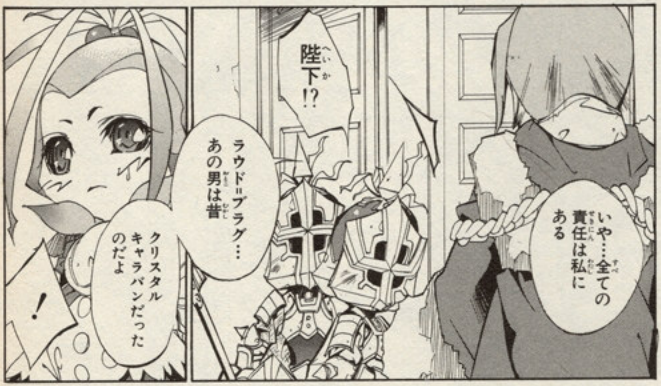

ここに残った
意味が無い!!




私はアンタの
命なんて
褒美でも
いらないからね!

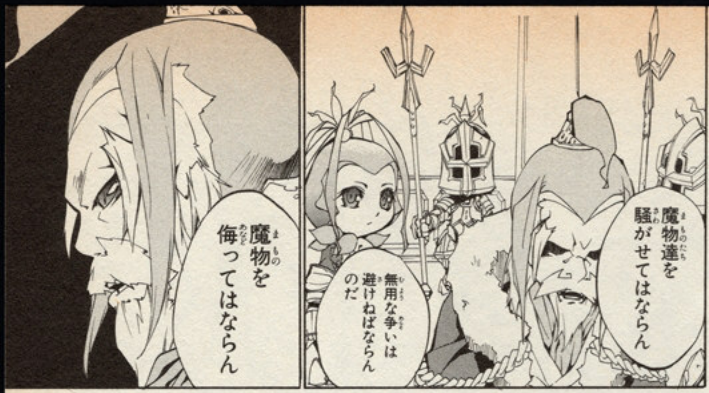

ソール!?
ソールしっかりしろ!
ソール=ラクト殿!
……
心配するな…大した事は無い…
…ソール
…俺が悪かった
皆を巻きこむまいと思っていたくせに俺は…
最後まで俺一人で解決させればよかった
そのようにしむけておきながらお前に疑われている事に耐えられなかったんだ…
済まないソール…

謝るのは私の方だドニー…
直前になって皆に全て話してくれるまで一人危険な橋を渡っていたお前を心底信じてやれなかった
許してくれ
陛下…！
スッ


いや…全ての責任は私にある
陛下!?
ラウド"ブラグ…あの男は昔
クリスタルキャラバンだったのだよ
！

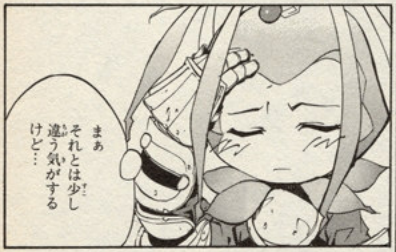
その昔…この男がたった一人で旅から戻ってきた事があった
ボロボロで…
雫だけを携え
衛兵が他の者はどうしたと尋ねると
「仲間は皆魔物に殺された」と言った

……
あやつは魔物を心の底から憎んでおった
私はそんな大臣をいさめてやる事が出来なかった
私に相当不満を持っていた事だろう…
…何故ですか陛下…
ス…
貴方はいつもおっしゃられる…何故魔物を殺すなと…
我々にとって魔物など害以外の何ものでも無いはず

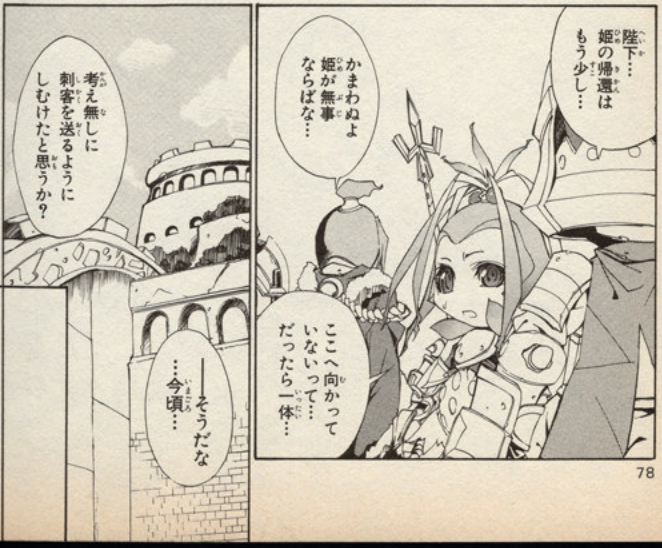

魔物達を
騒がせてはならん
無用な争いは
避けねばならん
のだ
魔物を
侮ってはならん

……
そう言えば…

やけに魔物を
かばいたがる人が
もう一人いたっけ…


まあ
それとは少し
違う気がする
けど…

姫…
お姫様は!?
大臣の刺客が待ちぶせしてるはずじゃあ…
心配しなくていいクレア〃ギルダ
え?
姫はここへは向かっていない


陛下…
姫の帰還はもう少し…
かまわぬよ
姫が無事ならばな…
ここへ向かっていないって…
だったら一体…
考え無しに刺客を送るようにしむけたと思うか?
――そうだな
…今頃…

ギャアギャア
進め―――ッ
ゴトゴト
なーにコレ感じ悪ッ！
まぁ木を倒しながらじゃないとこんな大きなもの通れませんからねぇ
それだけ大臣が急いでたって事じゃよ
この口調は！
ゲンクワックさん？
車両内パパオ(馬)内蔵↓
でも少し遠まわりすれば馬車も入れる道があったんでしょ？
こんな事してショートカットするなんて…

だがそれも
しばらくの辛抱
じゃ
もうそろそろ
僕達以外は城に
引き返す事になると
思いますよ？
え
それって…
うわ
何だコレッ
オイオイ
見てみろよ
コイツ――！
何か
おびえて
ないか？
槍で突いて
みようぜ
スゲーこれが
魔物ってやつか
ぷる
ぷる
ぷる
キャラバンじゃなきゃ
そうそう見る事
無いもんな――
…？
アラン＝ガイル
どうした？
魔物です
若い奴が
トンベリコックを
見つけたようですね…

何？
まったく…
ゲンクロワックさん？
問題が起こる前に少し行ってくる二人とも…
何だキサマ!!
やめて下さい！
怖がってるじゃないですか
しかもこんな無抵抗な相手を！
何だお前
魔物をかばうつもりか!?
あれ…この声聞き覚えが…
田舎者のクラヴァット風情がリルティに指図するんじゃない！

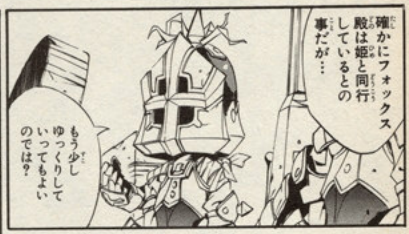
フォックス!!

魔物と言えど僕達に無為に命を奪う権利なんか無い！
キサマ――――ッ
ギャギャ
お止めなさい!!
ビクッ
誰の命令でこの地に参ったか存じませんが
この方に危害を加える事は私が許しません

即刻この地から
兵を引きなさい
アルフィタリア王女
として命じます

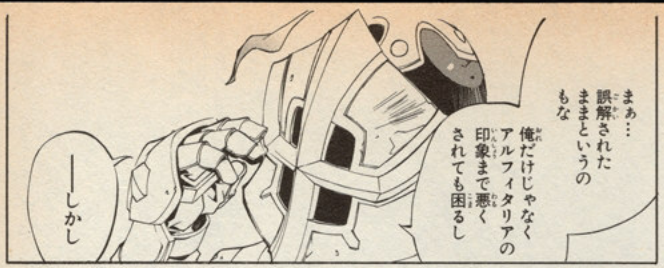
10月目
ジャック・モキートの館

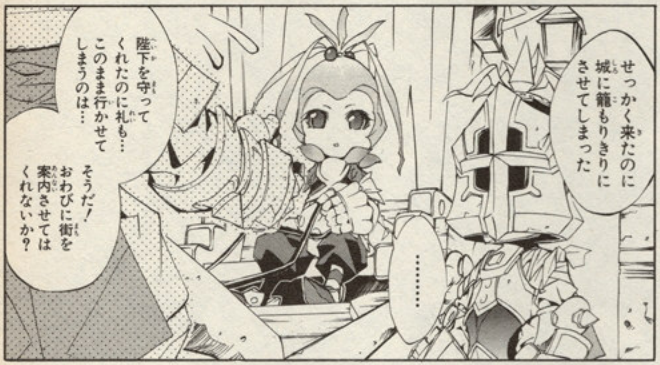
色々御世話になりました
貸しておいたミドルクリスタルはむこうでゲンクゥワックに返してくれればいい
本当に仲間と合流した後はもうここへは戻らないつもりか…？
昨日から皆で決めてたんです
フォックスと合流出来次第すぐ旅を続けると

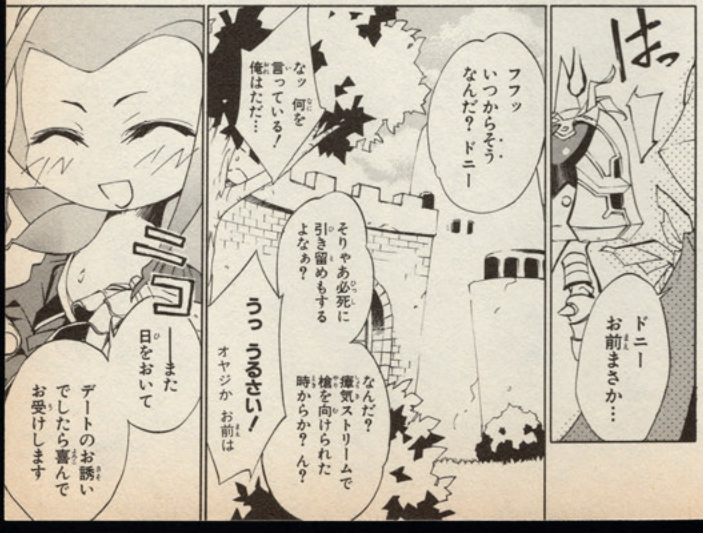

確かにフォックス殿は姫と同行しているとの事だが…
もう少しゆっくりしていってもよいのでは？

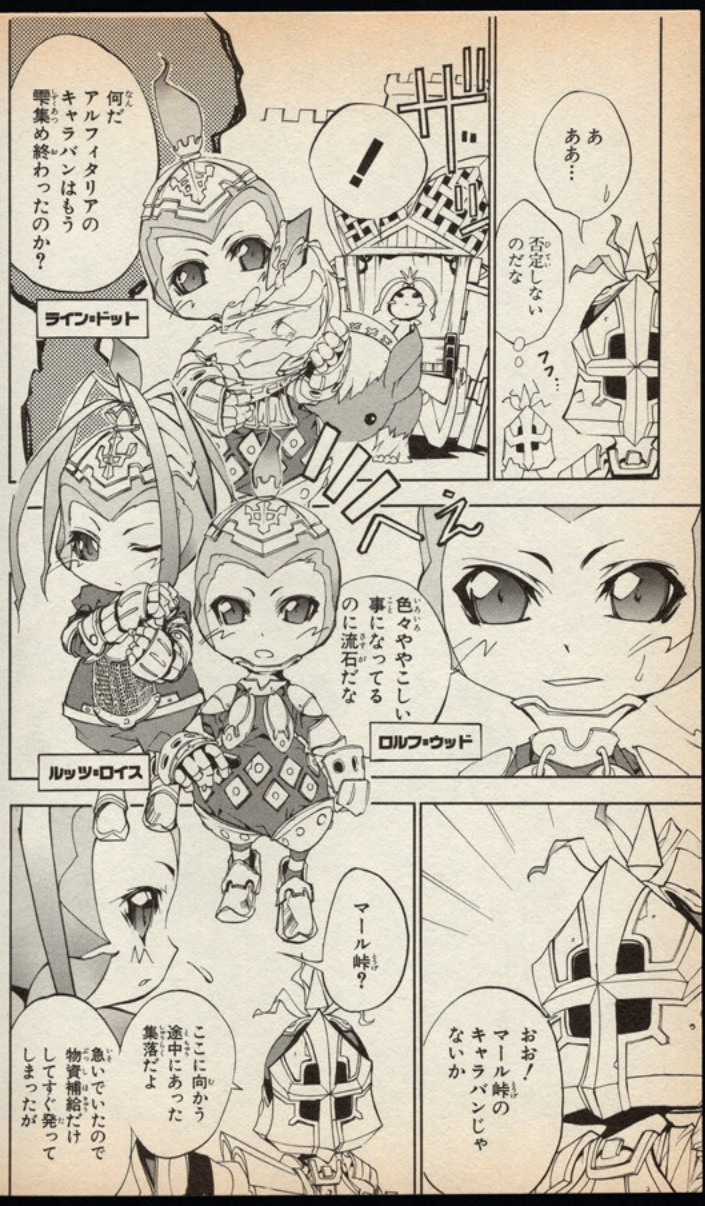
……
いえ ミルラの木が危ぶまれている今新米の私達には時間がいくらあっても足りないかもしれませんから

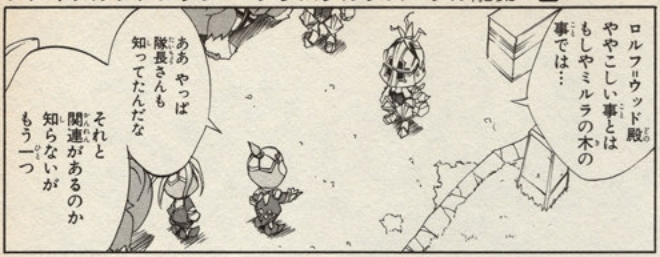
ドニーさん一ついいですか？
何故 邪魔になりかねなかった私に城に残っていいだなんて

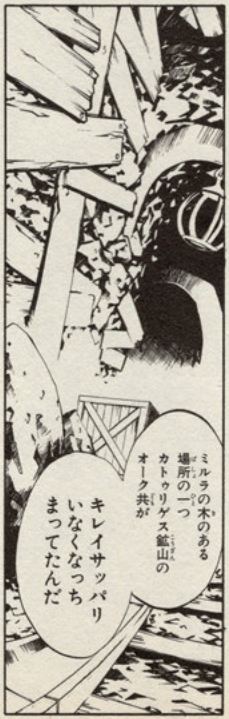

まぁ…
誤解されたままというのもな
俺だけじゃなくアルフィタリアの印象まで悪くされても困るし
——しかし

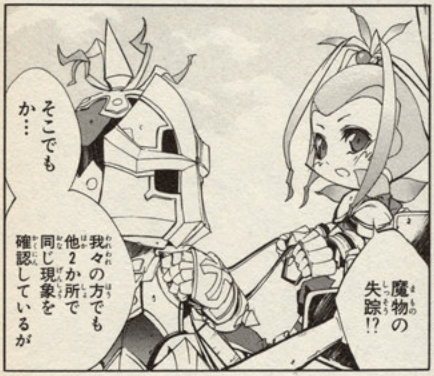

せっかく来たのに城に籠もりきりにさせてしまった
……
陛下を守ってくれたのに礼も…このまま行かせてしまうのは…
そうだ！おわびに街を案内させてはくれないか？


ドニー
お前まさか…
フフッ
いつからそうなんだ？ドニー
なっ何を言っている！俺はただ…
そりゃあ必死に引き留めもするよなぁ？
なんだ？爆気ストリームで槍を向けられた時からか？ん？
うっ うるさい！
オヤジか お前は
ニコ
——また日をおいてデートのお誘いでしたら喜んでお受けします


ああ…
否定しないのだな
フフ…
！
何だ アルフィタリアの キャラバンはもう 雫集め終わったのか？
ライン・ドット
リルへえ
色々ややこしい事になってるのに流石だな
ロルフ・ウッド
ルッツ・ロイス
おお！ マール峠のキャラバンじゃないか
マール峠？
ここに向かう途中にあった集落だよ
急いでいたので物資補給だけしてすぐ発ってしまったが


ロルフ＝ウッド殿
ややこしい事とは
もしやミルラの木の
事では…
ああ やっぱ
隊長さんも
知ってたんだな
それと
関連があるのか
知らないが
もう一つ


ミルラの木のある
場所の一つ
カトゥリゲス鉱山の
オーク共が
キレイサッパリ
いなくなっち
まってたんだ
オークの持ってる
アイテムが
ほしいんだ
けどね——
まおかげで
雫は楽に手に
入ったけどさ

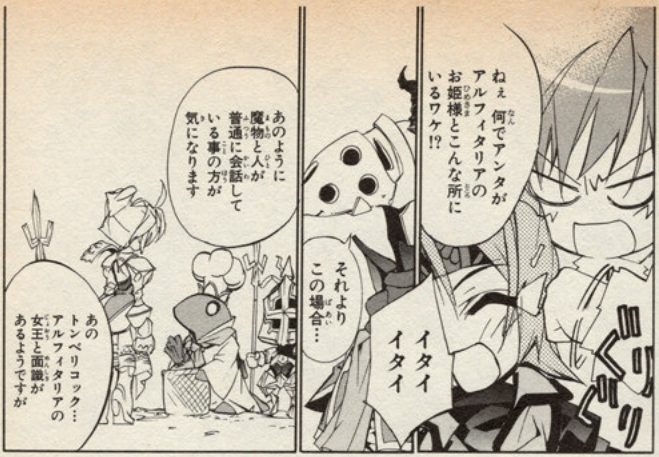

魔物の
失踪!?
我々の方でも
他2か所で
同じ現象を
確認しているが
そこでも
か…

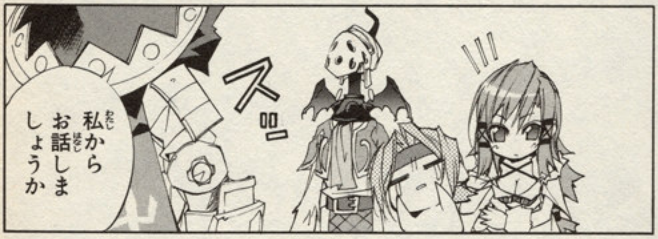
あと残り1/3
どうしても
集まらないんだ
他のキャラバンも
この状況の中
雫集めに苦戦を
強いられている…

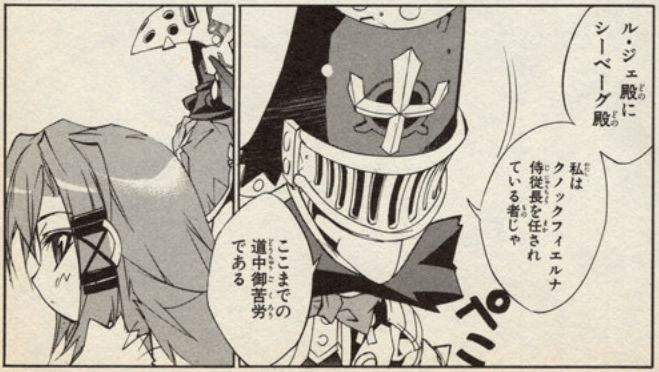
新米だなんだと
言ってられる
状況じゃないんだ
ケガは
ない？
ハイッ
あの
スミマセン
御主人様が
待ってますので
これで…
ありがとう
ございました
ペコ
あ…
貴女は…！

部隊が戻っていく
姫の命令じゃからのう逆らえはせんよ
何にせよこれで静かに…
——ル・ジェ殿はどこへ…？
あれ？
あっ
フォックスー!!
ル・ジェ
シーベーグ！
あーあ…
二人ともひさしぶ

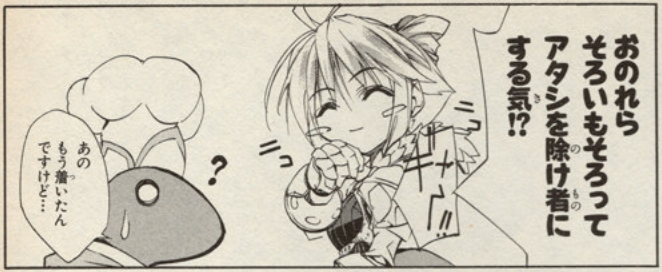
シーベーグ（まきぞえ）
フォックス
今までドコほっつき歩いとんのじゃ――ッ!!
何しょげた顔してんだコノヤローー！
くらっ
セルキーが出会い頭に殴るんです…
ええ約束した予定より少し早いですけどこれから大丈夫かしら？
はい
ジャック・モキート様に面会？
多分大丈夫だと思いますが…


ねぇ 何でアンタが アルフィタリアの お姫様とこんな所に いるワケ!?
ギリギリ
イタイ イタイ
それより この場合…
あのように 魔物と人が 普通に会話して いる事の方が 気になります
あの トンベリコック… アルフィタリアの 女王と面識が あるようですが


スッ
私から お話しま しょうか


ル・ジェ殿に シーベーク殿
私は クノックフィエルナ 侍従長を任され ている者じゃ
ここまでの 道中御苦労 である

ドニーミルスが!?
姫様が城を出ている間遂一手紙で状況を伝えるよう動いていたのだ
その中でこの地への大臣の部隊の侵略を知る事ができた
それを阻止した上でお主らが無事我々と合流するよう計ったのじゃ
なるほどね――それであの時行ってもらわなきゃ困るって言ってたんだ
ところでシーベーグ
スミマセン部隊が引くまでは誰にも言うなと言われてたんですよ
…また私の知らないトコロでそんな事を…
しかもフォックスも一人でどこでとったのかちゃっかり1-3零入手済みだし…
ひぃっ
アンタ ホントは全部知ってたんじゃないでしょうね!?
だから心配ないとか
うロロロ
…昨夜二人が眠った後ドニーさんに聞きまして…
クレアの事を何も知らぬまま置いていけませんでしたし聞きまして…


おのれらそろいもそろってアタシを除け者にする気!?
あのもう着いたんですけど…
?

ジャック・モキートの館

よーし
ミルラの木目指して
暴れまくるわよ――ッ!!!
ええ――
――ッ!!?

ル・ジェ 今日は戦いに来たんじゃないんだよ? 暴れるなんて…
迷子ボーヤは黙ってな!!
こっちはアンタを待ってる間 城のイザコザに巻きこまれたりで ストレスたまってんのよ――!!
うおっ
迷子ボーヤ

お待ちくださり!!
!!

アルフィタリアで
貴方方が気分を
害されたのならば
全て私の責任です
おわびにまた改めて
城内で出来る限りの
お持てなしをさせて
いただきます!!
ですからどうか!
どうかこの場は
お収めくださいませッ
わわわ
わかりました
わよ!!(?)
ずいぶんと
大胆なお姫様
なのねぇ…
あぁうく
チビちまる
トコだた…
ええ
まったく…
うるさいぞ
貴様等
人の邸の前で
何をやっている!?

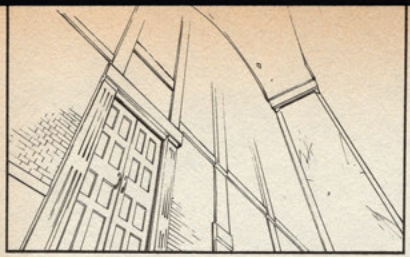
この昼間
食事もまだだと
言うのに…
ジャック・モキート
……お前

食事の支度もせずに何を油を売っている…？
ひっ…ごめんなさい
御主人様、あの…
……ッ
……っ
！

フィ
入れ

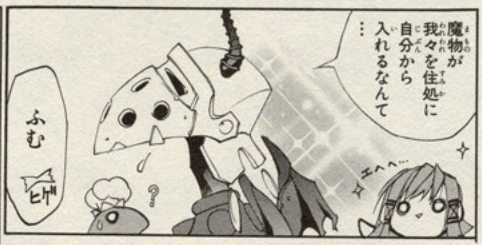
……
フン

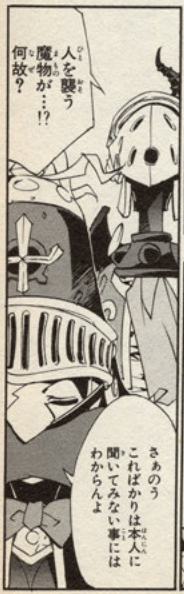
食事しながらで
よければ 話は
聞いてやる



……

侍従長さん
どういう事です？


魔物が
我々を住処に
自分から
入れるなんて
…
ふむ
ヒゲ
ヒヘヘ…


人を襲う
魔物が…!?
何故？
さぁのう
これぱかりは本人に
聞いてみない事には
わからんよ

ここでは事前に
申請さえすれば
ミルラの雫を求める
キャラバンなら
通してくれる
もちろん
こんな事は
この場所くらい
じゃがな
ポヨ
ポヨ
ポヨ
モグー!!
ぎゃあぁぁ

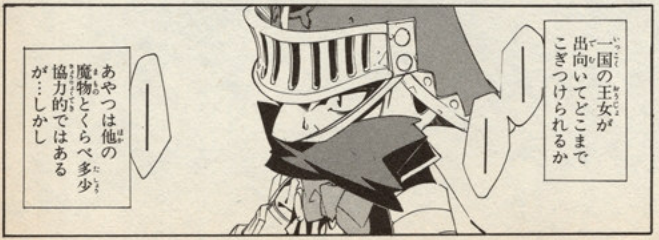
これから姫が館の主人と大事な話がある
じゃがそれはまた後で聞いてくれよ？
悪いがミルラの木もその後じゃ

え？姫の話って
館の主人と話すのはフォックスじゃないの？
……

どんな用なのか…大体想像はつく

お前達にとって
ミルラの木は
この世界で生きる
為の生命線
そのミルラの木が
各地で破壊されて
いると言う事で
あろう

はい
それと
……
各地で魔物が
失踪するという
現象について…
目的はミルラの木を
我々の保護下に
おく事

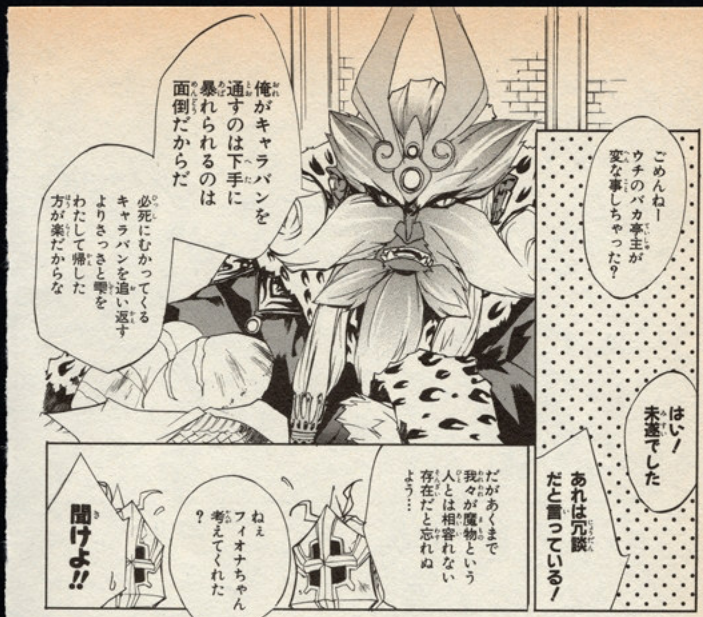

一国の王女が
出向いてどこまで
こぎつけられるか
あやつは他の
魔物とくらべ多少
協力的ではある
が…しかし

……
じゃん
話は分かった
…ところでだ
…王女よ
そこにそうして
座っていると
この料理のように
俺に食われる為に
そうしている
ような気分に
ならんか…？

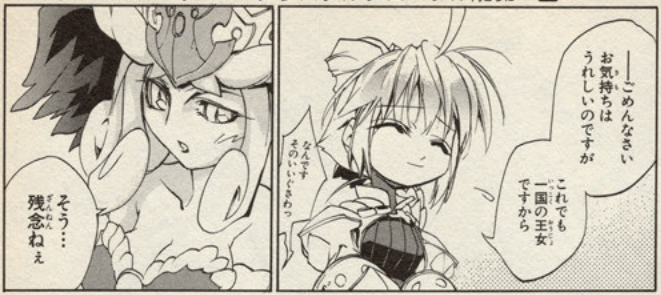
なあ
フィオナ王女――…
ア
ア
姫が！
貴様アッ!!
スル
何大人気無いコトしてるのよアンタ

マギー(ミセス・モキート)
そんなボーヤに後ろをとられるなんて
！
え…からかってって…
冗談…だったんですか…？
しかも…
ー！
みっともないわねぇ
こんな小さな子達からかって楽しいワケ？
マギー！

お～
いつの間に…
フォックス…
ココ。
俺が妙な動きをすればすぐ斬れるように後ろの暖炉から見張っていたのか
そういう事だ…まったく
大したボディーガードだ
マギー奥さま！
御久しぶりですっ！
まぁよく来たわねフィオナちゃん
ガタ
ハイ♡
ガガタ
な…なんじゃありゃあ…

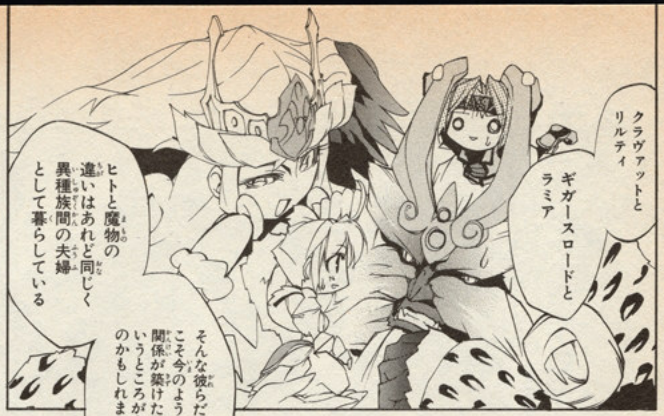

ごめんねー
ウチのバカ亭主が
変な事しちゃった？
はい！
未遂でした
あれは冗談
だと言っている！
俺がキャラバンを
通すのは下手に
暴れられるのは
面倒だからだ
必死にむかってくる
キャラバンを追い返す
よりさっさと帰りを
わたして帰した
方が楽だからな
だがあくまで
我々が魔物という
人とは相容れない
存在だと忘れぬ
よう…
ねぇ
フィオナちゃん
考えてくれた
？
聞けよ!!

アタシの娘になる
気はない？
フィオナちゃん
二種族間のハーフ
でしょ？昨日も
ダンナと話してたのよ
ちょこん
姫サマー!!
ヒカ
もしアタシ達の
間に子供が
生まれたら
きっとフィオナちゃん
みたいなかわいい
女の子が生まれるん
じゃないかって


――ごめんなさい
お気持ちは
うれしいのですが
これでも
一国の王女
ですから
なんです
そのいいぐさわっ
そう…
残念ねぇ

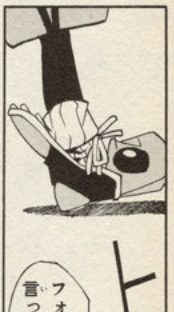
マギー
あまり無茶を
言うものじゃない
何よアンタ!
アンタは私達の
愛の結晶が
欲しくないの!?

その娘にも
自分の家族が
いるのだ
…似てますね
彼らは…
え?
アルフィタリアの
王族とこの館の
住人の事です


クラヴァットとリルティ
ギガースロードとラミア
ヒトと魔物の違いはあれど同じく異種族間の夫婦として暮らしている
そんな彼らだからこそ今のような関係が築けたというところがあるのかもしれませんね

……♪
姫～!!

表で家来のトンベリコックが世話になったようだが…


トン＝
フォックスと言ったか

迷わず俺を斬りにかかるとは
魔物に対し考えが甘いと言う訳ではないらしい

いない方がいい
生きものなんて
いないと思います
でも
むかってくる者が
あるのであれば
躊躇しては
いられない
そうしなければ
守るべきものを
守る事なんて
出来ないですから
フン
故郷を守る
為…か
キャラバンとして
周到な心掛けだな
この地にある
ミルラの雫は
くれてやる
いいだろう

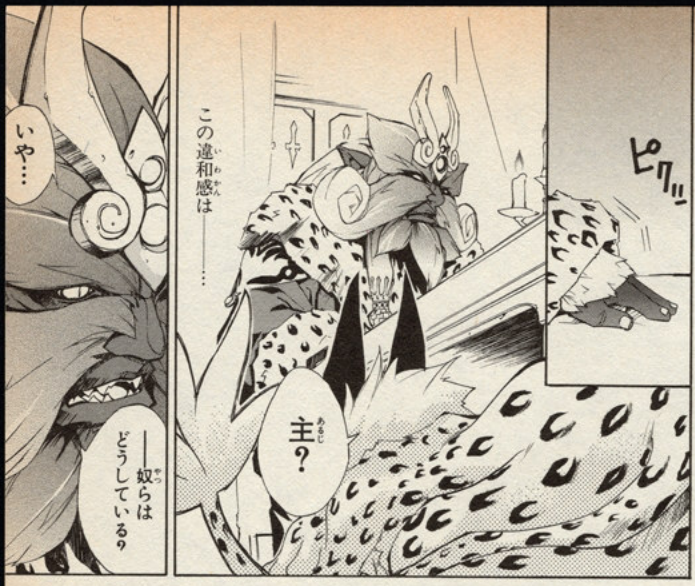
これがミルラの木…
キレイ…初めて見るわ

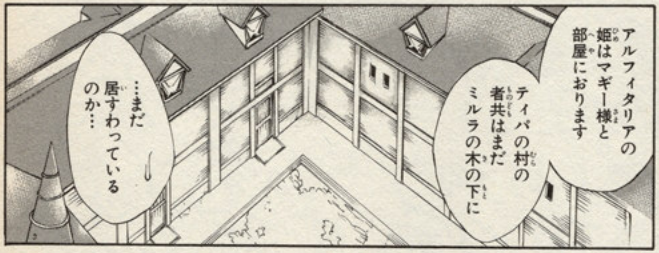
そして初めてじゃない奴が一人…
チクッ
びくっ
…ミルラの木はキャラバンに雫をもたらすだけじゃない
その地に住む魔物達の信仰の対象であり
権力の象徴でありまた魂の拠である
それぞれの土地にもよるが魔物にとってもミルラの木とはその存在そのものに大きな意味がある
この地で育つ作物はあの木の影響で何倍も大きく豊かになる
それを食糧としている俺もその恩恵に与っている
だがお前達がいたのではせっかくの食事も落ちついてありつけんのでな
雫を持ってさっさと出て行ってほしいものだな
…御迷惑おかけします
ゴト

カァア…
パァアア
！
ミルラの木が

二人までだ
え？
ミルラの木の見張り役としてそちらの兵二人をこの館に置かせてやる
あの木が何者かによって脅かされているのならばな
もちろんこの地においてこの俺がそんな勝手な真似は許しはしない
魔物の失踪については知らんが俺もミルラの木の恩恵に与る者として
お前達が俺の関知せぬ地でもその脅威と戦うのならば

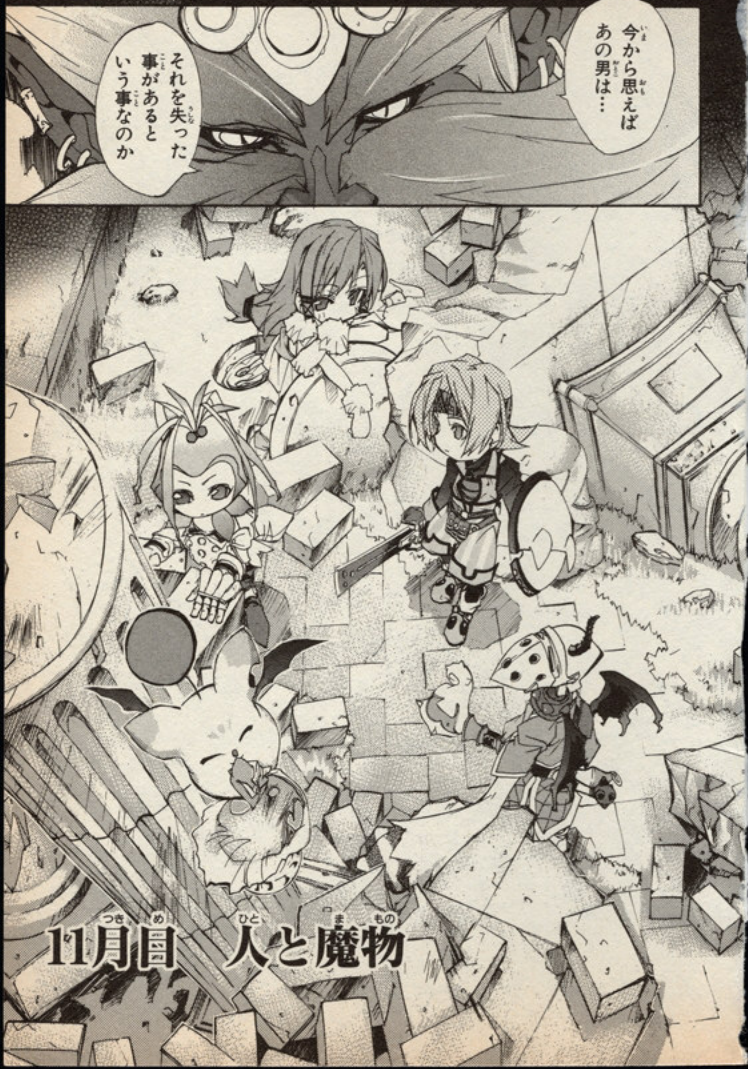
我々は
お前達に協力
しよう
もちろん
全て終わったら
出ていって
もらうがな！
――御協力
感謝します
……


ピクッ
この違和感は――……
主？
――奴らはどうしている？
いや…

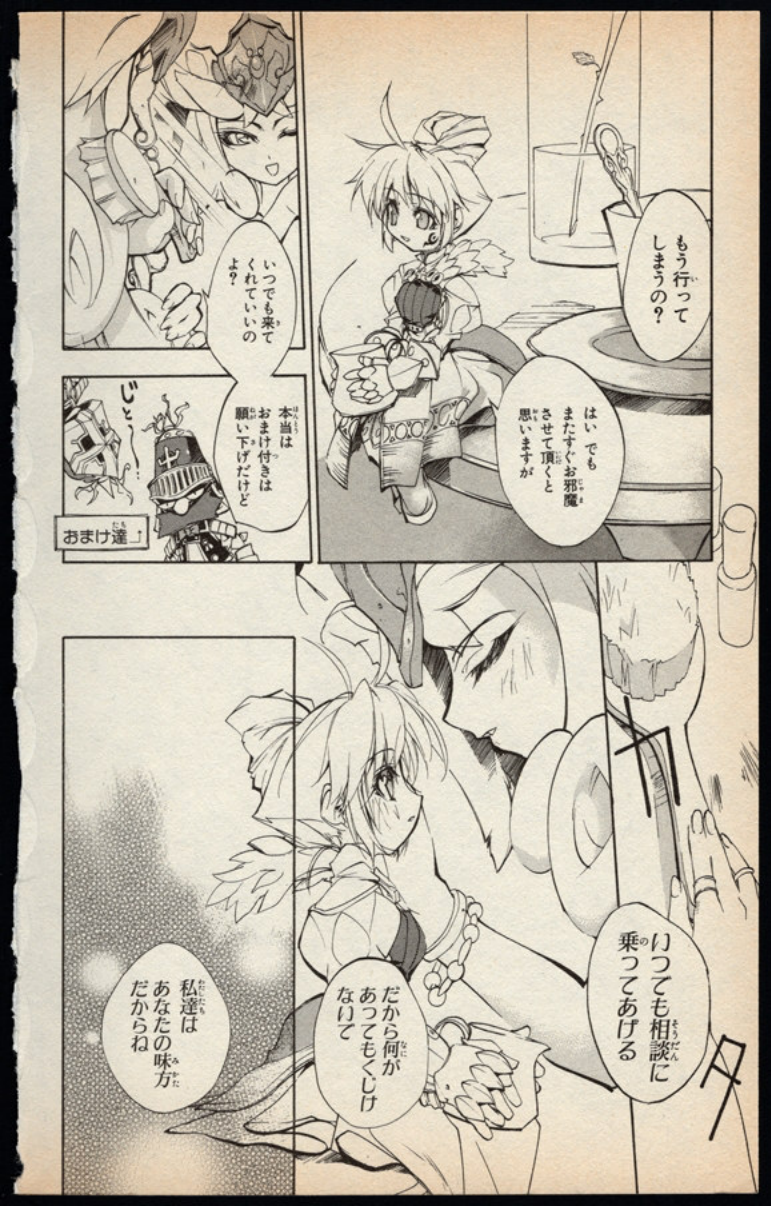

アルフィタリアの姫はマギー様と部屋におります
ティパの村の者共はまだミルラの木の下に
…まだ居すわっているのか…

…私は正直安心しています
――あの日

主が初めて「今後クリスタルキャラバンに危害を加えない」と言った時
正直申し上げて私は主に不信感を抱かずにはいられなかった
しかし今思えば主の判断は正しかったように思います
マギー様と主の顔は以前とくらべ穏やかになられた
――昔どこかのキャラバンの青年が言っていた
「家族は何ものにもかえられないもの」
「それを失う事にくらべれば時りなどどれほどの価値があろうか」と



11月目　人と魔物


もう行ってしまうの？
はいでもまたすぐお邪魔させて頂くと思いますが
いつでも来てくれていいのよ？
本当はおまけ付きは願い下げだけど
じと～
おまけ達
りつても相談に乗ってあげる
だから何があってもくじけなりて
私達はあなたの味方だからね

魔物とは何だと思います？
本来の「人を襲う」だけなら動物にもある事
何よシーペーグいきなりそんな話をして
ペタ！
魔物は子供を産まない
動物や植物がそうであるように子孫を残す事が生物の原則と考えるなら
シェラの里のマクシーム様の話では誰も魔物の誕生の瞬間を見た事が無いそうです
魔物は生物とは異なる存在だという事になる

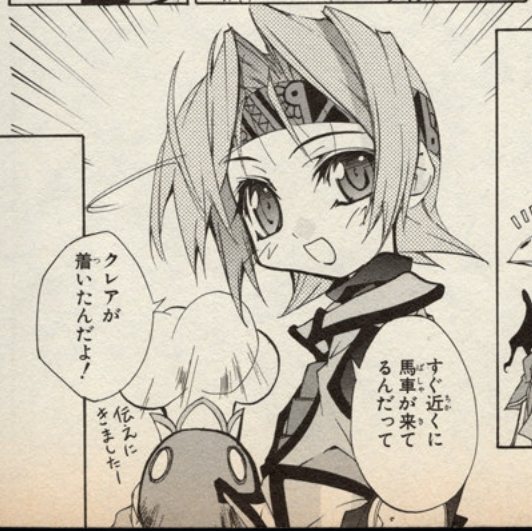
デ・ナムは瘴気が無くなれば魔物もいなくなると言った……
記録によると瘴気などもとからこの世界にあったものではなく
魔物が現れるようになったのも瘴気の発生以後だとか
では魔物はどこからやってきたのか
魔物の存在理由とは…
…幸せになる為…かな——少なくとも
ジャック・モキートさんは平穏な生き方を選んでキャラバンと戦うのをやめてる
スー
そうやって自分の家族を守ってる
僕達と何も変わらないよ
くだらんな

……
お前達いつまでここにいつくつもりだ？
雫を持って早々に出ていくように言ったはずだが？
うっ…。
あの…もう一人仲間が来る予定で僕達ミルラの木見るの初めてだし…
後から来る仲間も…ここでもう少し待たせてもらいたくて…
はぁ～
御主人様……
夕食までいたら追い出すからな

…たぶんフォックスに助けられたあのトンベリコックの恩を汲んでくれたのでしょう

……
こりゃ結構な家族想いだわ
なるほどね

…正直ここまでは許してくれると思わなかったけど

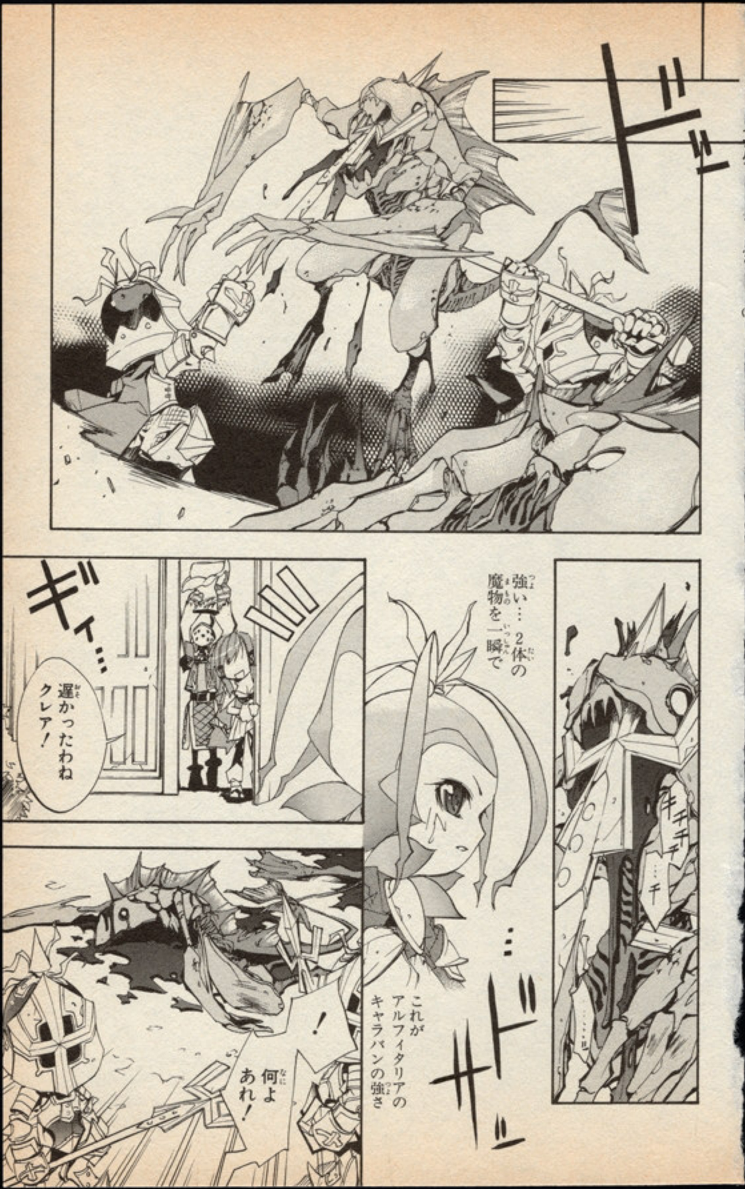

ル・ジェ！シーベーグ！
すぐ近くに馬車が来てるんだって
クレアが着いたんだよ！
伝えにきましたー

ガララ
！着いたか
エント＝ダラスさんとゲンク＝ワックさん！
お主を待っておった 他の者はもう中におるよ
皆の所まで案内しよう
ここは少々他と都合が違うのでな
パキ
！ああ大丈夫でふよ
ここでは魔物と戦わなくても…

——サハギン!?
バカな…この地にサハギンなど出るハズが…
ギチチ チ
人間の来訪に対して手厚い歓迎とは
魔物でありながら粋狂な計らいをする

我々も丁重なもてなしを期待しておくとしようか
なあ？
ジャック・モキート

姫を守れ!!
魔物を近づけさせるな!!
何故だ…どうして出現するハズの無い魔物が出る!?
スケルトンなど…!!


ドドッ
ギィ…
遅かったわね クレア！
強い…２体の魔物を一瞬で
チチチ…チ
……
これがアルフィタリアのキャラバンの強さ
ザドッ
！
何よあれ！

サハギン!? 何故水棲の魔物がこんな森の中に…
シーベーグ殿! 中は変わった様子は無かったか?
キィン
ガキッ
!
いえ ここに向かう分には特には…
フリートークタイム!
——フォックスは…
この音は…
いかん! 中でも戦闘が行われているのか
早くミルラの木に戻らないと!
置いてきたフォックスが…

ピシッ
ドッカーン
な……ッ!?
ドドド
ゼェッ
ハアッ ハッ
魔物とは本来人を害し恐怖を与えるもの
貴様はその理を違えた
オォォォ

クリスタルの
!!
御っ…
ジャック・モキートさん…!!

今一度
瘴気の中に
還るがいい
剣!?
御主人様――!!!

ジャック!!
ウチのダンナは…!?
ぐっ
あんた達
いつまでも
……ッ
時よ――ッ
邪魔よ!!
退きなさい!!!

キュイーン
キュイーン
スロウガ
〜ろ
!
敵の動きが遅くなった!
!
マギー奥様!?

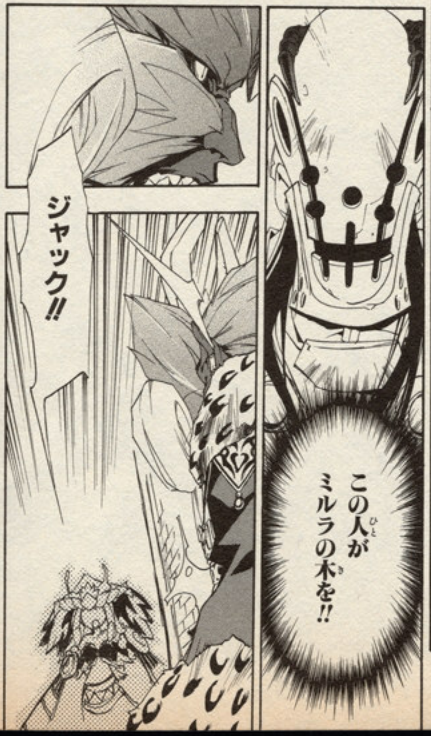
オ…
オオオオッ
ズバ
魔物は瘴気と共にあり人は瘴気の中では生きられない
そして人と魔物は互いに仇なすもの

クリスタルは
瘴気をはらい
人を守り
縁があれば
また会いましょう
間違い無い…
あの人は
リバーベル街道の
ミルラの雫は
その力を保つもの
でも何か
雰囲気が違う!?
ミルラの雫を
生み出す
ミルラの木など
我々魔物に
必要無い
!?

ギ
!?
……ッ!!

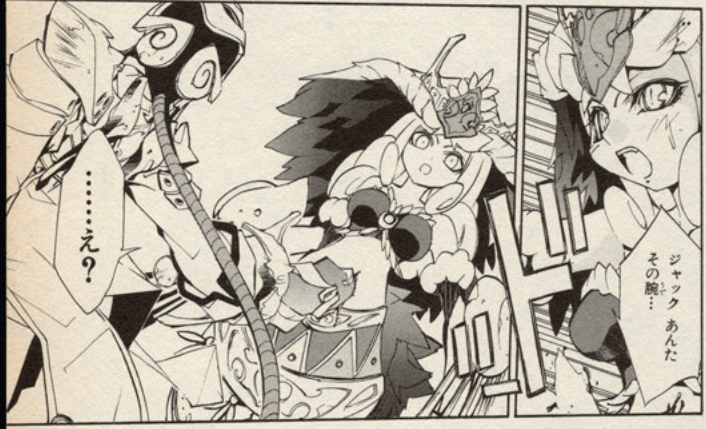
朽ち果てろ！

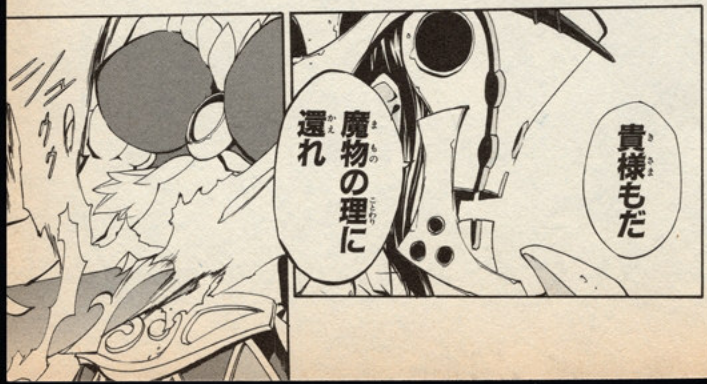
この人がミルラの木を!!


ジャック!!

養分を吸い尽くされたように——
枯れたミルラの木がコナゴナに砕けていく

!!
マギ――
来るんじゃない！

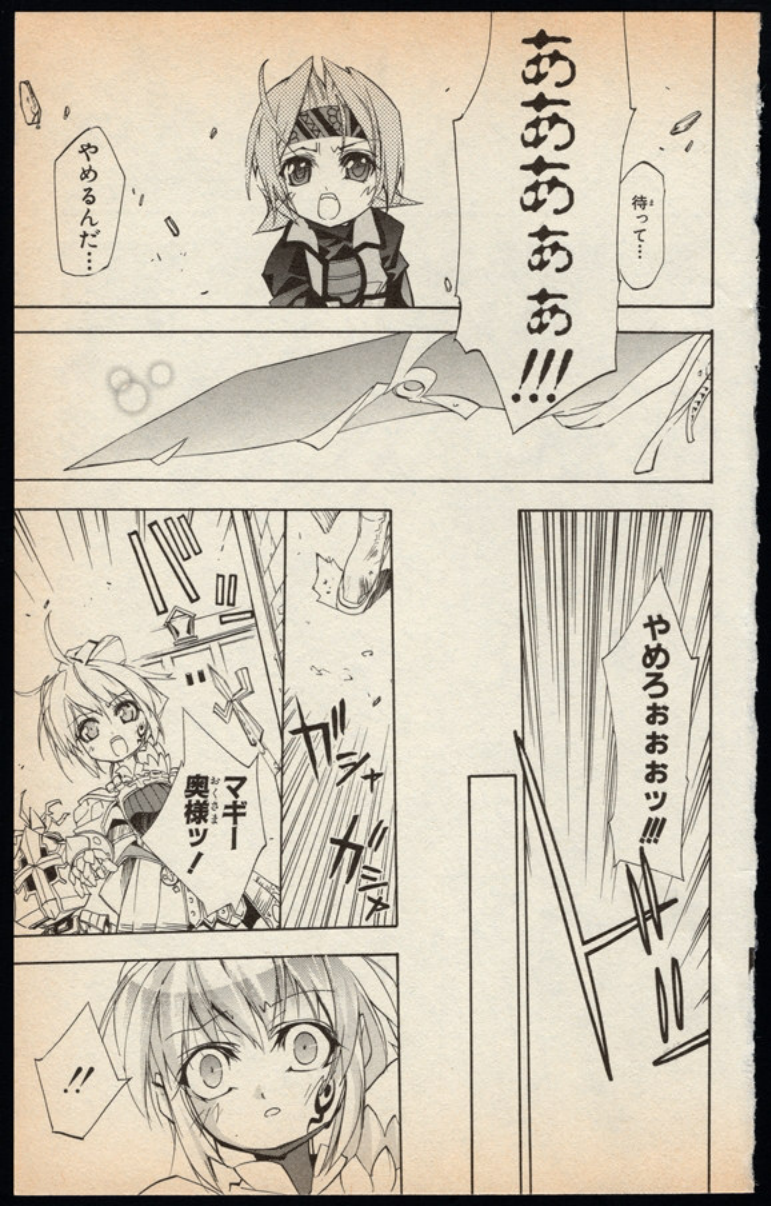

ジャック あんた
その腕…
……え？


貴様もだ
魔物の理に
還れ

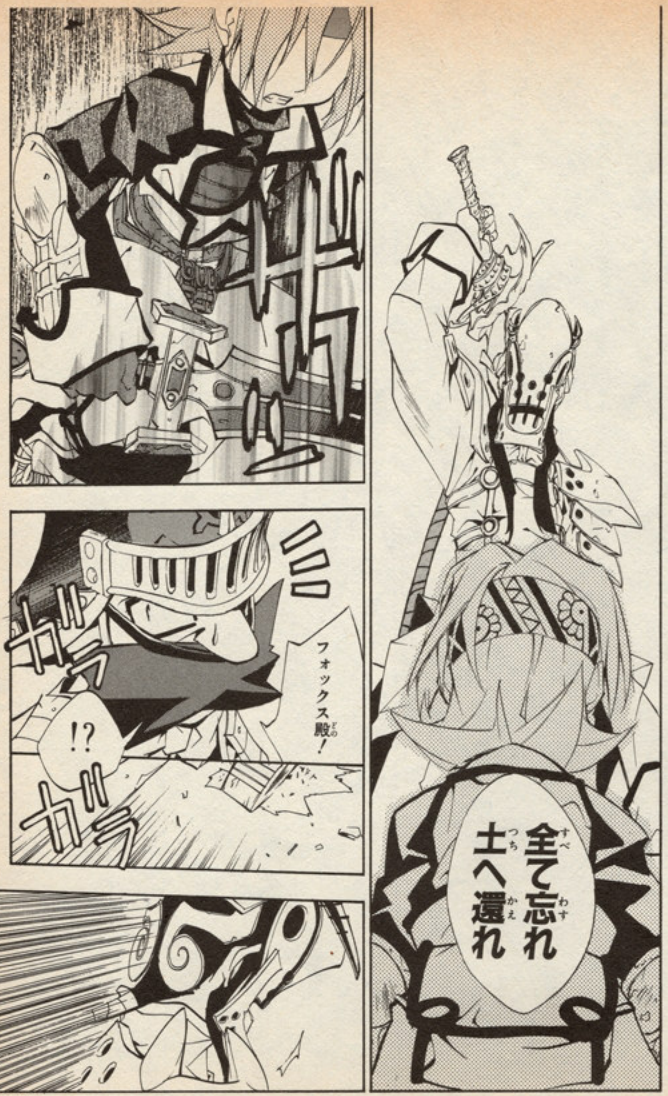
マキ――!!
いやあああああッ

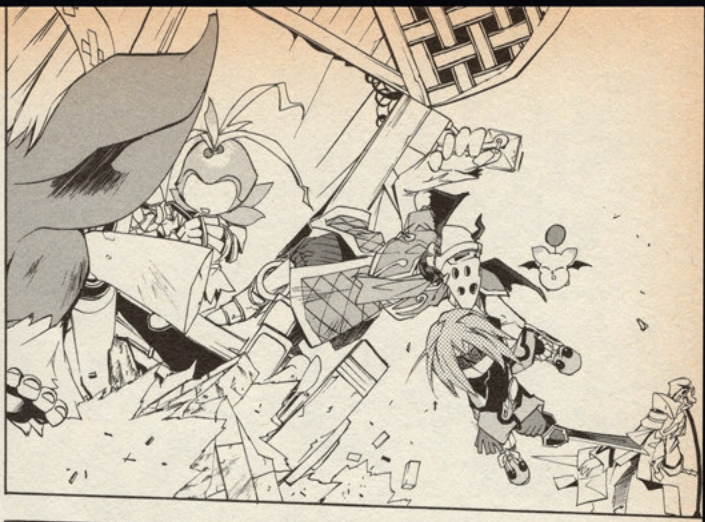
カシャーン
マ…
…ギ…
!!
うおおおおおお!!!
骨様アアアアアッ!!!

だめだ
ジャック・モキート
さん
貴方
まで
黙れ
子童ア!!
妻が目の前であんな
殺され方をして
黙っていられる
かあああ


ああああ!!!
待って…
やめるんだ…
やめろおおおッ!!!
ガシャ
ガシャ
マギー
奥様ッ!
!!

…どうして
こんな事を…
貴方は同じ魔物だったんじゃないのか…？
…クスッ
フォックス！
これから死ぬ者がそんな事を聞いてどうする


全て忘れ
土へ還れ
フォックス殿！
!?



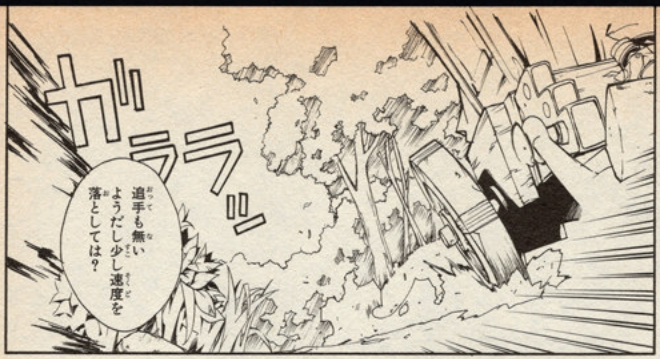
!!?
クポッ!?
姫様！この館は魔物に囲まれているわ！
後ろの馬車へ早く！
姫!!
早くお乗りを！

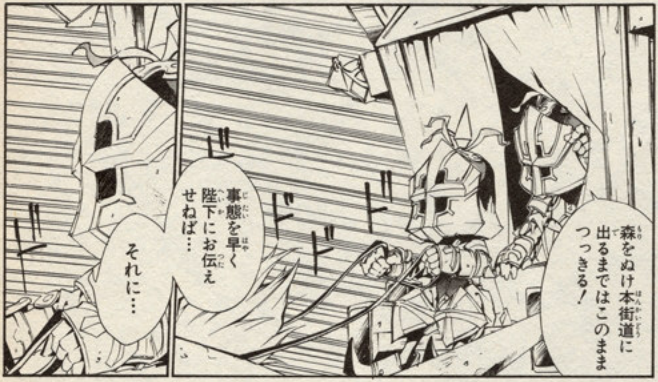
ドカ
ガラ
バサ
バサ
逃げたか…
まあいい
ほんの少し
寿命がのびた
だけの事
死の運命からは
逃れられん

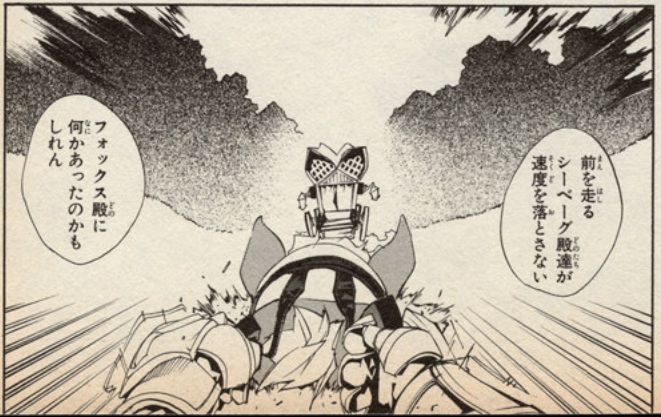
瘴気につつまれた
この世界に
お前達人間の
生きる場所など
無いのだから

クリスタルは
瘴気をはらい
人を守り
ミルラの雫は
その力を保つもの
ミルラの雫を
生み出す
ミルラの木など
我々魔物に
必要無い

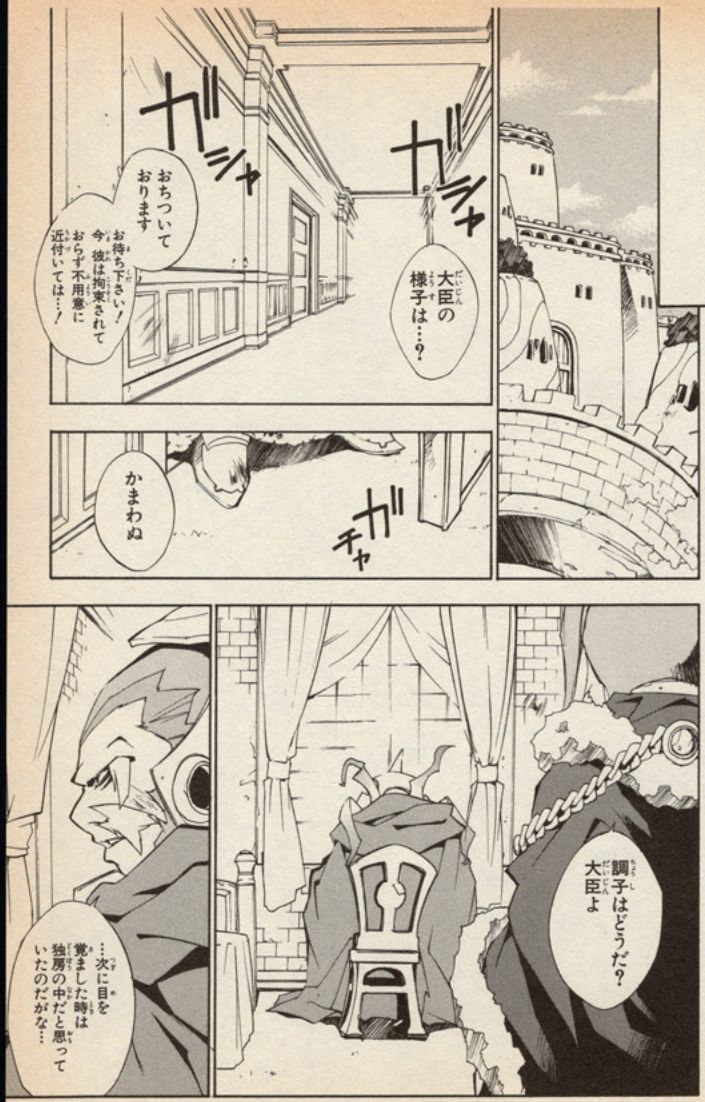
12月目
黒の大群と白の騎士


ガラッ…
追手も無いようだし少し速度を落としては？


森をぬけ本街道に出るまではこのままつっきる！
ド
ド
ド
事態を早く陛下にお伝えせねば…
それに…


前を走るシーベーグ殿達が速度を落とさない
フォックス殿に何かあったのかもしれん

どうしたのよ
フォックス！
フォックス!?
もしかして
瘴気にあて
られたんじゃ!?
我々が来るまでの
時間からしてそれは
ないとは思いますが
……
どうするの!?
一度止まって
ちゃんと見た方が…
いえ
すぐアルフィタリアに
戻りましょう
また何があるか
わからない
せめて安心
できる場所へ


大臣の様子は…？
ガシャ
ガシャ
おちついております
お待ち下さい！今彼は拘束されておらず不用意に近付いては…！
かまわぬ
ガチャ
調子はどうだ？大臣よ
…次に目を覚ました時は独房の中だと思っていたのだがな…

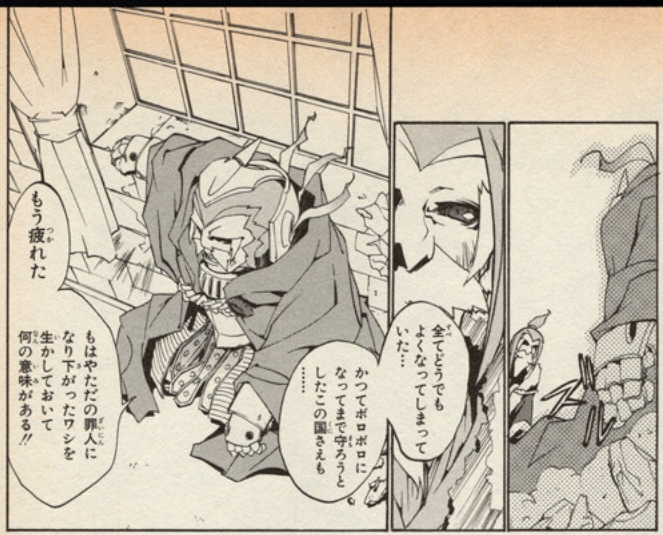
わざわざ陛下自ら
お越しとは
処刑の日取りの
通告なら兵にも
出来ように
……
先ほどお主の部隊が
フィオナの命令を受け
戻ってきた

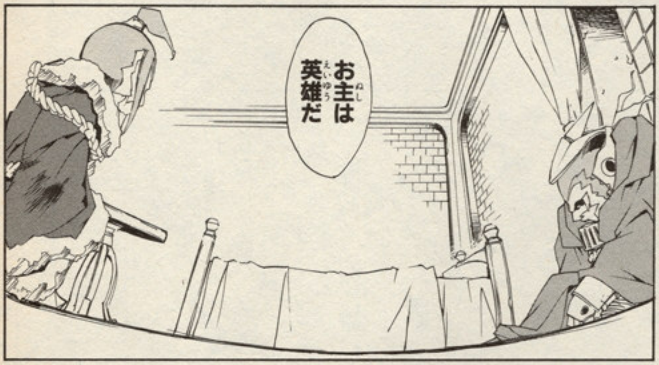
それは
何より！
姫の安否を
確認できる上
ジャック・モキート等とも
関係をこじらせず
済んだ
彼らはこの国にとって
ごく身近にある
脅威の一つだからな
友好関係を保てるの
ならばそれにこした
事はない

その為に大事な
姫を矢面に立たせる
価値は十分あると
いうわけか…フッ
笑わせる
口を慎め！
フン
大臣

今度の事は全て不問とする
これからもアルフィタリアの為尽くしてもらいたい
不問…
だと？
ふざけるな！
やはりお主が政権を奪おうとしたのは…
かつての仲間を殺した魔物に復讐する為か
俺を殺せ！反逆者としてこの十数年ずっとやり場の無い憎しみをかかえて生きてきたのだ!!
戦い方が残忍だとキャラバンを外されこの十数年ずっと民に俺の首をさらすがいい!!

戦いでしか生き方を
見いだす事が
出来なかった俺を
戦場から遠ざけた奴!
その張本人にあの時
一太刀でも浴びせ
られたら多少満足
出来たろうになァ
復讐だと!?
ああそうだな!
聞け
ラウドゥブラグ!
仲間を失ってから
お主は変わった
命をつむぐ為の
ミルラの旅が
お主にとってただ
魔物を殺戮する
為のものになって
しまったのだ!
その儚若無人な
戦い方は新たに加えた
仲間をも危うくした
だからお主を
クリスタルキャラバン
から遠ざけた!
ギリ
出来れば
私は…
誰よりもこの国を
想っていたお主に
大臣として国を
守り続けて欲し
かった
ゴゴゴ
黙れ!!


全てどうでもよくなってしまっていた…
かつてボロボロになってまで守ろうとしたこの国さえも……
もはやただの罪人になり下がったワシを生かしておいて何の意味がある!!
もう疲れた


お主は英雄だ

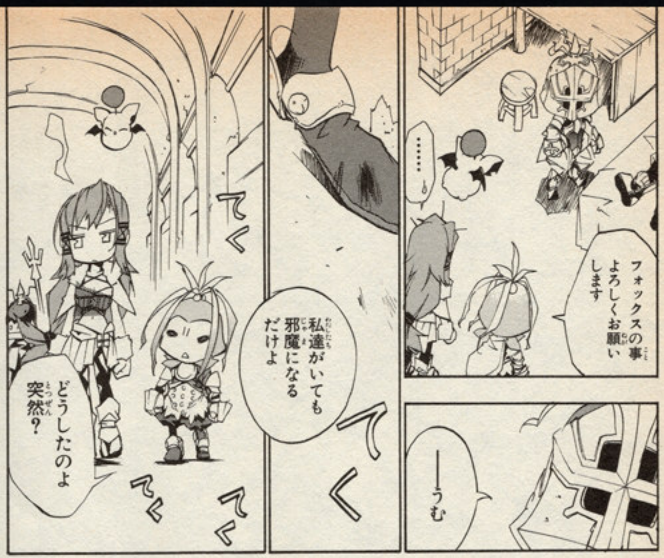
ボロボロになりながらも必死でこの国の命をつないでくれた
その英雄をそうやすやす殺す事は出来んよ…そのような事をしようものなら

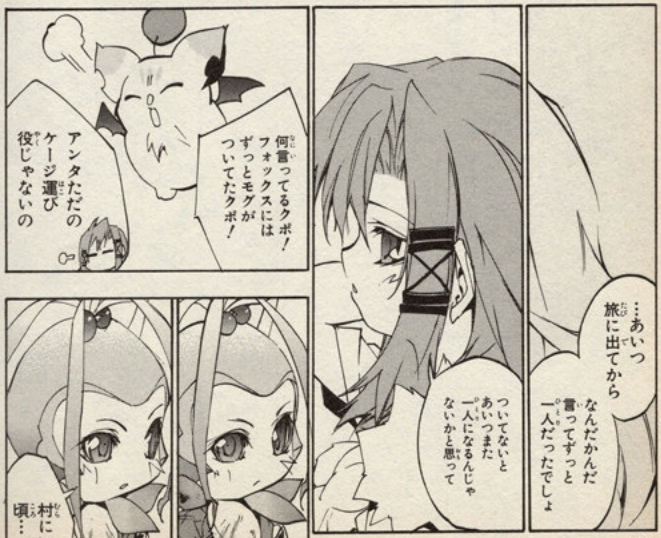
私はお主を今も英雄としたう者達に面目がたたなくなる
私をふくめこの国の民に今もそう信じている者は少なくない
フン
自分を抑えこんでまで今までよく尽くしてくれた
今夜はもう休むといい
お主を大臣の官位から外そう
バタン

ザワ
ザワ
ザワ
フィオナ…
ト
ニ
！
御父様…

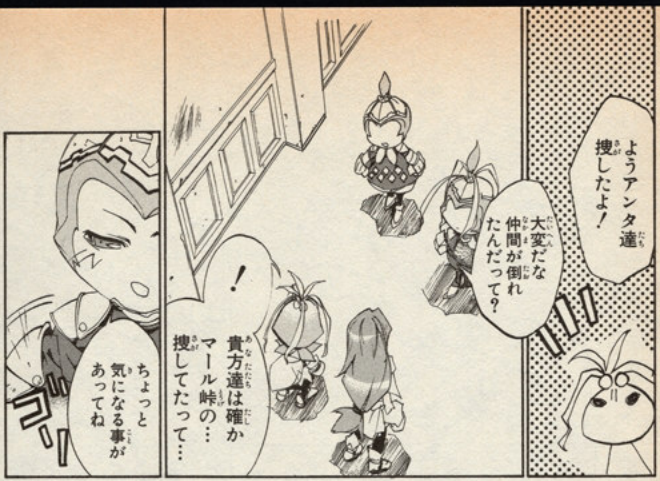
ジャック・モキートさん達が…
ライバの村のキャラバンが戻ったのか
——！あの娘
こっちだ！
すみません どこか安静に出来る場所は!?
何か落としたわ
ゴソ
ガサ
カサ
何だ？
！
！オイこれって…

見た所気を失っているだけのようだし
その内目を覚ますとは思うが…しばらく様子を見るしかないな
気が付いたらすぐ伝えるから
君らも今日は休むといい
あの…出来れば
フォックスが気付くまで看て…
わかりました
あっ

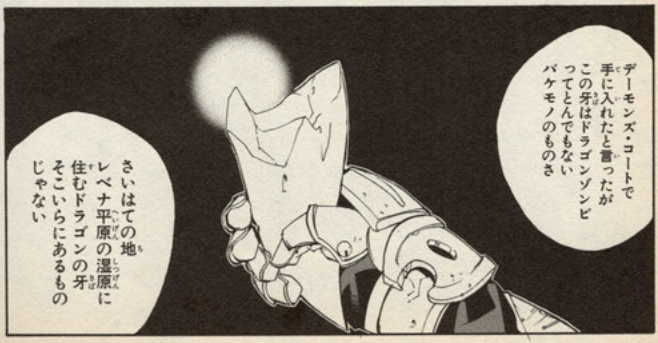

フォックスの事よろしくお願いします
……
――うむ
私達がいても邪魔になるだけよ
てく
てく
てく
どうしたのよ突然？


…あいつ旅に出てからなんだかんだ言ってずっと一人だったでしょ
ついてないとあいつまた一人になるんじゃないかと思って
何言ってるクポ！フォックスにはずっとモグがついてたクポ！
アンタただのケージ運び役じゃないの
村にいた頃…

私 キャラバンは フォックス一人 だけだと思って いたわ
……え
ぐい
ぐいやあぁあ
ぐい
フォックスが 剣の稽古を してる時や
私がボロボロに なった剣を直して いた時…
アイツ一人で 大丈夫なんじゃ ないかとさえ 思ってた
でも今度の事といい リバーベル街道でも 危なっかしくて しょうがなかったわ
そうよ! だからよけい 心配して…
それがアイツの 役割だったって いうなら
それでもアイツ しっかり一人で 帰ってきたんでしょ?
……
私らにも 他にやる事 あるんじゃない?


ようアンタ達
捜したよ！
大変だな
仲間が倒れ
たんだって？
！
貴方達は確か
マール峠の…
捜してたって…
ちょっと
気になる事が
あってね
ゴゴ…

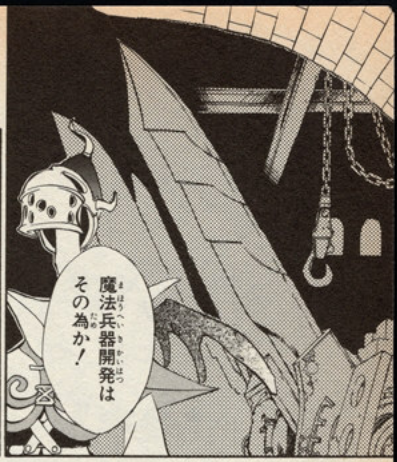
コレ アンタ等が
落としたもの
だよな？
！それは
デーモンズ・コートで
見つけた…
ぴよ
勝手に見て
すまなかったが
私達実はミルラの
旅の傍ら色々な
鍛冶素材を
集めているの
気になったって
言うのは
これの事なんだ
せまい

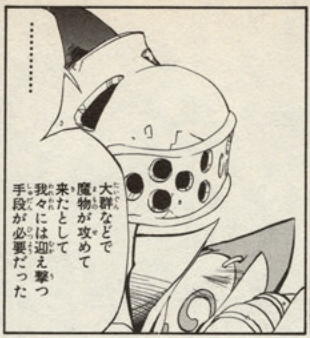

デーモンズ・コートで
手に入れたと言ったが
この牙はドラゴンゾンビ
ってとんでもない
バケモノのものさ
さいはての地
レベナ平原の湿原に
住むドラゴンの牙
そこいらにあるもの
じゃない

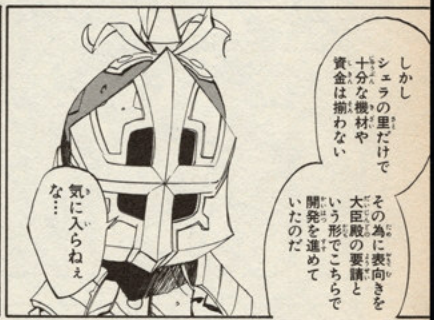
アンタ達 ジャック・モキートの館で サハギンに襲われたんだってな？ もしかして…
？ ？ ？
デーモンズ・コートにドラゴンゾンビが現れた事と同時に
湿地で多く現れるサハギンと共にあの場にも奴がいた可能性がある
！ シーベーグ
話があります とても大事な…
これから大変な事になりそうですよ
ともかくこちらへ
マール峠のキャラバンの皆様も同行して頂きたい

ジャック・モキートの
館に現れた
仮面の騎士
その者が全ての
元凶と考えて
間違いないだろう
黒騎士と
名指しされる者が
街道に現れると
聞くがそれとは
違うのか？
黒？
別人じゃない？
アイツどっちかって
言うと白って
カンジだし
それに気になるのは
各地で起きている
魔物の失踪との
つながり…
コナルクルハ湿原で
失踪したサハギンや
ドラゴンゾンビを
つれていたと思われる
白の騎士

マクシーム殿
これは…
……うむ
……？
我らがシェラの里にもっとも近い魔物の巣窟だった
ヴェオル水門の
魔物が姿を消した事を受け
我々はこうなるであろう事を予測してそれに備え動いていた
魔物達は消えたのではない
何者かによって集められていたのだ
恐らく魔物達の大群を率いて人間の集落を襲う為
トルン
何…!?
それがその仮面の騎士だと!?
！ちょっと待ってアンタ今備えていたって言ったな

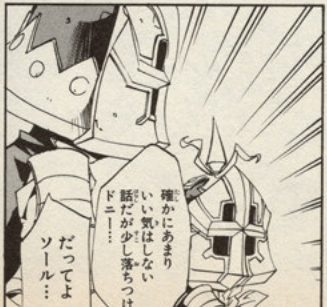

魔法兵器開発はその為か！


……
大群などで魔物が攻めて来たとして我々には迎え撃つ手段が必要だった


しかしシェラの里だけで十分な機材や資金は揃わない
その為に表向きを大臣殿の要請という形でこちらで開発を進めていたのだ
気に入らねぇな…

ダン
正直に話したところで君等が信用するとは思えなかったので仕方あるまい
何イ!?

確信を得たらこうして話すつもりだった
ねむい…うるさい…
あたりまえだ金使わせといて兵器だけ持ってトンズラなんて許す訳無いだろ！


確かにあまりいい気はしない話だが少し落ちつけドニー…
だってよソール…

ドニーさん！
……チッ。
ぎし…
え――!?
一つ断っておくが
我々はシェラの里へ持ち帰る為に兵器を造っていた訳では無い
！
もちろんシェラの里に魔物がやってくるなら守りたいが
モグ君
クポ？
実際に近くで白騎士を見たのはこの中では君だけだ
彼は何か言っていなかったか？
……
カリカリ!!
言葉から読みとれる事があるかもしれん
…あの人はハッキリ自分が魔物だと言って…
ミルラの木や人を恨んでるようだったクポ
もっとも初めて会った時は元クリスタルキャラバンだと…

敵の目的は
人間世界の
滅亡

その為にまず総力をあげて

もっとも大きいクリスタルを憑代とする……アルフィタリアをねらうだろう

もしアルフィタリアのクリスタルが破壊されるような事になれば我々人間にとっての被害は計り知れない

ガタ

ロルフ＝ウッド殿

話は聞いた

近い内ここは戦場になる

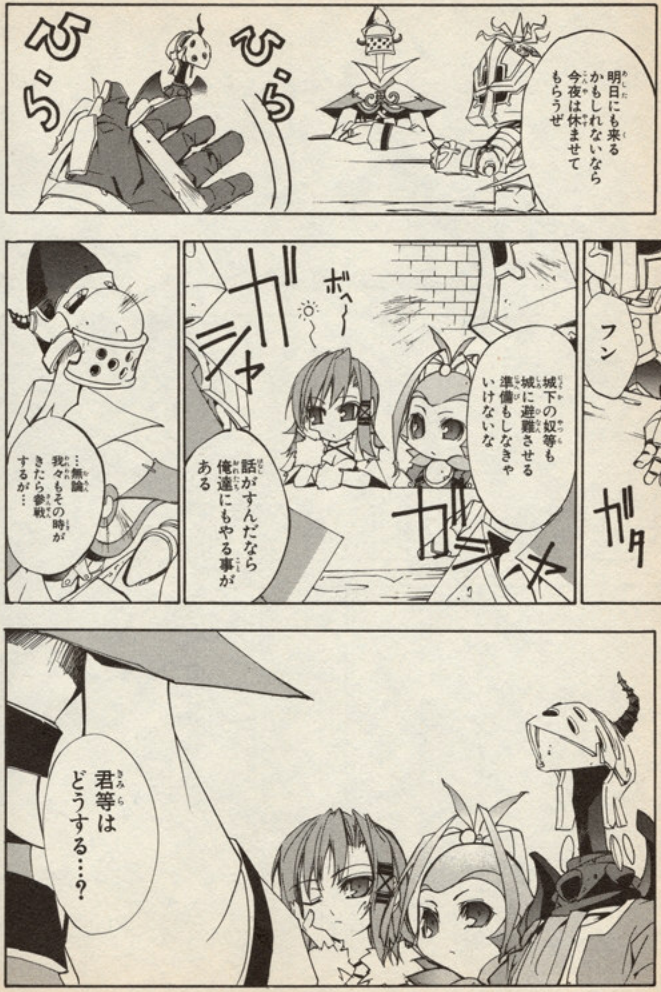
俺達は宿に戻る

……そうだよお主らマール峠の者にはかかわりの無い事…

勘違いしないでくれ

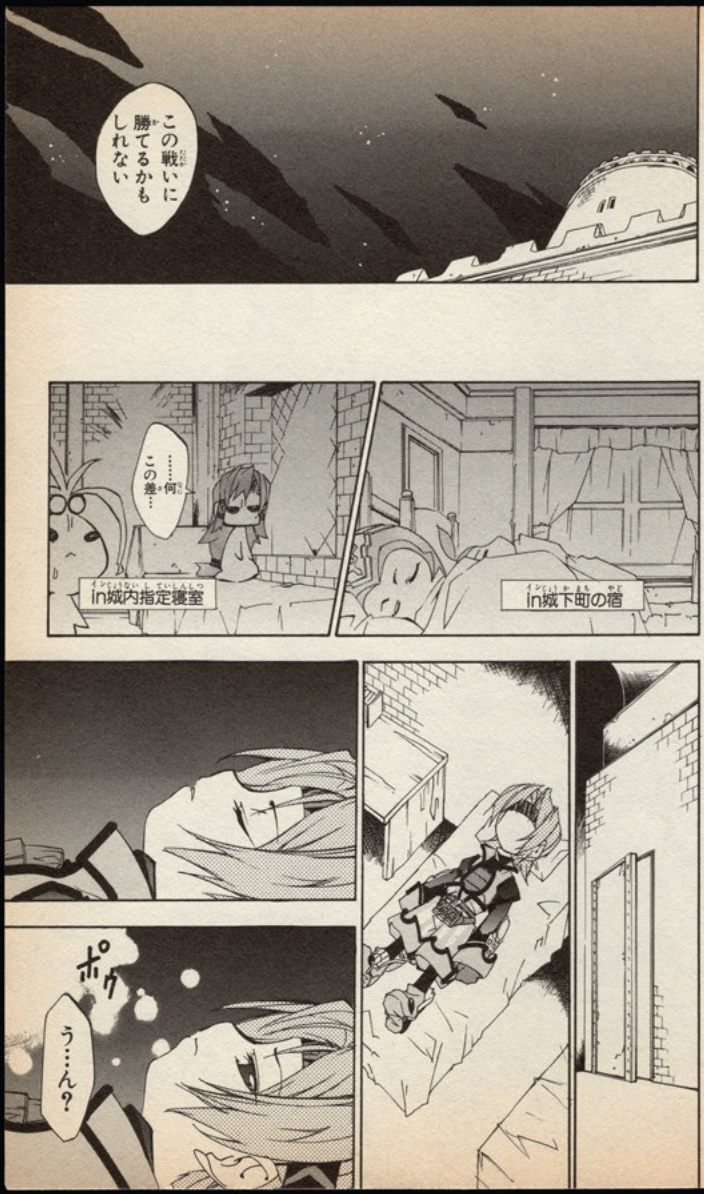
もしここがやられたら次は俺達の村だ

戦うなら手をかすよ

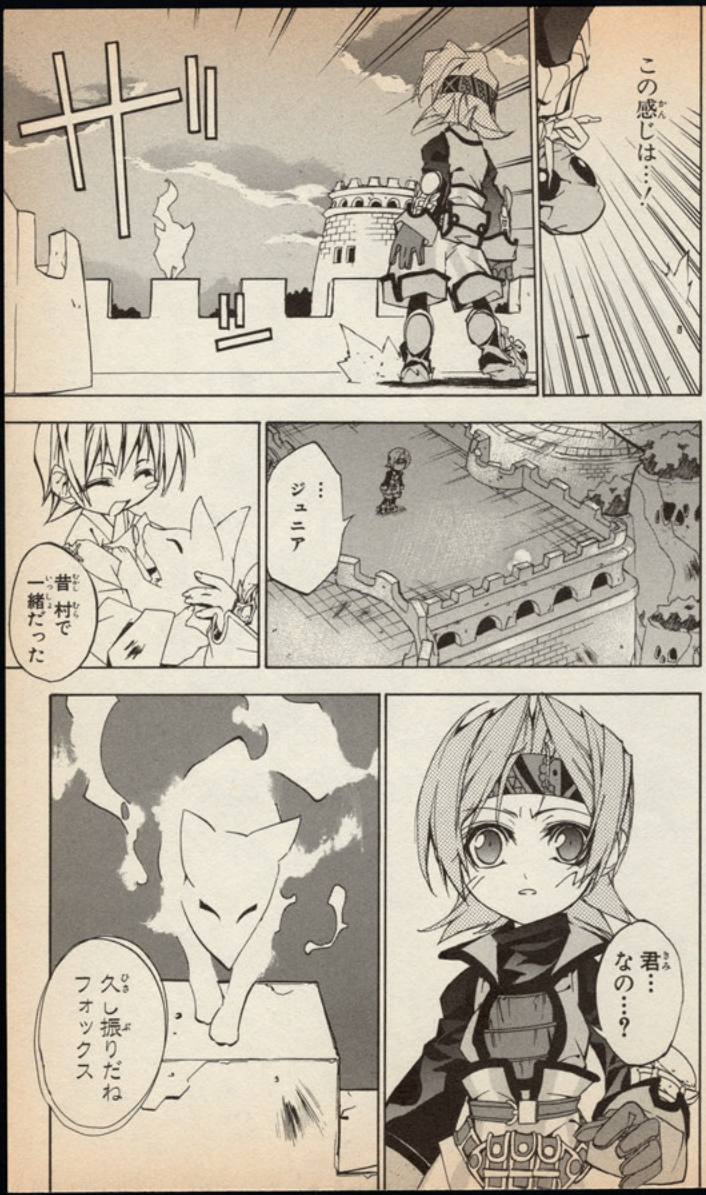

明日にも来るかもしれないなら今夜は休ませてもらうぜ
ら
ら
ら
フン
城下の奴等も城に避難させる準備もしなきゃいけないな
ボヘ～
ガシャ
ガタ
話がすんだなら俺達にもやる事がある
…無論我々もその時がきたら参戦するが…
君等はどうする…？

……ってゆうか
この状況で
アタシらマジ
選択権無くない？
あのオッサン
ゼッタイ
わかって聞いて
るよいっそ
帰るって言…
シッ
黙って
ル・ジェ…
ただの冗談よ！
わかってるっての
アンタ達に
任せるわ！
フォックスが
気が付くまで
身動きとれ
そうにないし
カタ
とにかく
私つかれたし
もう寝るね
行こ！
クレア
シーベーグ

後の事お願いね！
わちゃ〜
シーベーグ君はまだ休まないのかね？
——どうしても頭にひっかかるんです…
お二人の意見をお聞きしたい
白騎士はどうやって魔物を集める事が出来たのか
それぞれ遠く離れた土地に住む魔物を統率する事が出来るとは思えません
個の意志を持つ存在を同時に操る事が出来るのであれば
強力な戦力になったであろうモキート夫妻を殺害するのはおかしい
…確かに妙だ
魔物を無理やり集めれば矛先が自分に向かないともかぎらない
強力な魔物を集めるとなれば尚更だ
魔物を服従させる方法…それが解れば


この戦いに勝てるかもしれない
in城下町の宿
……何この差…
in城内指定寝室
ポク
う…ん？

な…
何…これ
フォックス…
！
！
待って！
バッ
懐かしい…


この感じは…！
…ジュニア
昔村で一緒だった
君…なの…？
久し振りだねフォックス

しゃべった!?
ゴメン
ボクのせいだ
ここまで来るのに
君に憑いて来た
けど そのせいで
君に負担をかけて
しまった
ジュニア…?
君の仲間にも
心配をかけ
させてしまったね
フォックス
君のお母さんが
会いたがっている
!?
母さんは
生きてるの!?
でも今は
悪い魔物に
捕まって
動けないんだ
だからかわりに
シーベーグのお父さんが
君をむかえに
あの日ティパの村へ
やってきた

シーベーグの…
お父さん…？
確か母さんの代のキャラバンはシーベーグのお父さんとの二人編成…
だけど悪い魔物がフォックスの命をねらって君が村からつれて来られるのを待っていたんだ
だからボクが君の代わりにずっとシーベーグのお父さんと一緒だったんだよ

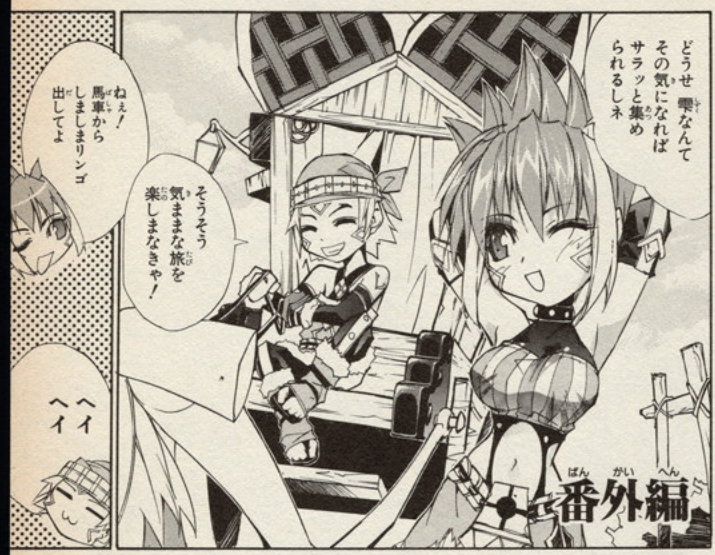
その悪い魔物って言うのは…あの仮面の人の事!?
あの人を倒せば…
母さんを助ける事が出来るの!?
約束してフォックス
必ずアイツを倒して

そうすればきっとお母さんに会えるから
…ジュニアは？
こっちに来るんでしょ？
待ってよジュニア！
だけどボクは後悔してないよ
ボクが変わったおかげでこうして君と言葉を交わす事が出来た
何で…
――出来ればまたフォックスと一緒にいたいよ…でもダメなんだ

何より君が無事でよかった
わかんないよ何言ってるのさ
せっかくまた会えたのに…！
きっと君もその悪い魔物から助けるって!!
またすぐ会えるよ……
お願いだよフォックス何があっても
クリスタルキャラバンとして必ずアイツを倒して
トコ
約束するよ何があっても…母さんを助けて
ありがとうフォックス
ボクはもう帰れないけど……

ボク等の家を守って…

や――
こんな簡単に雫が手に入るなんてなー！
まぁティパの村の4人には悪かったけど


どうせ雫なんてその気になればサラッと集められるしネ
そうそう気ままな旅を楽しまなきゃ！
ねぇ！馬車からしましまリンゴ出してよ
ヘイヘイ
番外編

えっと…たしかこの辺に…あったあった
ゴソゴソ
？あれこんな紫色だったっけ？
しましま…
ハッ

――街道にはヤツ等がいる
しましま模様で身をつつみ
しっ！
疾風のごとき早技で街道を行くキャラバン達をふるえ上がらせる
まて！
ボス――
アルテミシオン
彼らこそ
フン

ご苦労
アルテミシオン
セルキーの中のセルキー
しましま盗賊団！
メ・カジ
バル・タット
見てみろよ
あの二人の
あわてよう
同族のセルキーといえど 俺達の前じゃ あわれなカモに過ぎないってな！
ホー
ホッ
ホッ
ホッ
普段盗む側のセルキーを狙い盲点をつくなんてボスさすがクポ
何を言う！相手が誰だろうと俺達の手にかかれば…
プリ
プリ
あれ？じいさんは…？

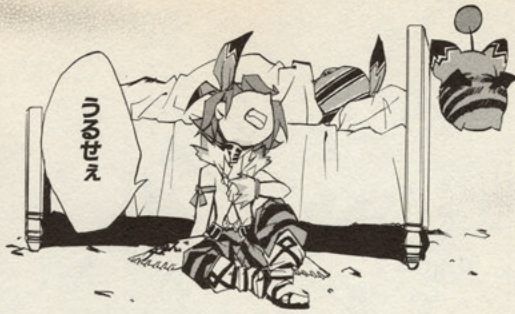
捕縛。
うおおおおっ!!
まてゴラァ!
ボスー
まったく!
ゴロ
何とか逃げられたからよかったものを
じいさんもっとしっかりしてくれよな!
ボス…またいないクポ
ガバッ
あァ!?
あ!あそこ…

うわぁ……

何？
何なのコレ
つーか何でこんなトコにベッド？
走って逃げてる途中見つけて寝ちゃったクポ？

ったくこれだからじじいは…
ドサッ
！
あれ？起こさないクポ？

…まあ折角だし…
盗賊やんのもこの老体にゃあこたえたんだろ
ベッドで寝るなんてそうそう無えし…
たまたまだ



ファイナルファンタジー・クリスタルクロニクル はてなき空の向こうに 2 おわり

〈作画構成〉

壱河柳乃助

〈スタッフ〉

北風あろ

藤坂途人

〈担当編集〉

松崎武吏(ガンガン編集部)

鹿塩武志(ガンガン編集部)

〈監修・協力〉

片岡正博(スクウェア・エニックス)

板鼻利幸(スクウェア・エニックス第2開発事業部)

岡宮道生(スクウェア・エニックス宣伝部)

鯨水清貴(スクウェア・エニックス宣伝部)

河野麗(スクウェア・エニックス宣伝部)

田口浩司(スクウェア・エニックス)

ガンガンコミックス

ファイナルファンタジー・クリスタルクロニクル はてなき空の向こうに 2

2005年3月22日
初版

著　者　　壱河柳乃助

©2005 Ryunosuke Ichikawa

©2003 THE GAME DESIGNERS STUDIO,INC.
FINAL FANTASY is a registered trademark of SQUARE ENIX CO.,LTD.
CHARACTER DESIGN/Toshiyuki itahana.

発行人
田口浩司

発行所
株式会社スクウェア・エニックス

〒151-8544　東京都渋谷区代々木3-22-7　新宿文化クイントビル3階
〈内容についてのお問い合わせ〉　TEL 03(5333)0835
〈販売・営業に関するお問い合わせ〉　TEL 03(5333)0832
FAX 03(5352)6464

印刷所　　凸版印刷株式会社

無断転載・上演・上映・放送を禁じます。
乱丁・落丁本はお取り替えいたします。
定価は表紙カバーに表示してあります。

Printed in Japan

ISBN4-7575-1368-2 C9979

©2003 THE GAME DESIGNERS STUDIO,INC. FINAL FANTASY is a registered trademark of SQUARE ENIX CO.,LTD.
CHARACTER DESIGN/Toshiyuki itahana.

SQUARE ENIX.
ガンガンコミックス